イエタテ
Special Issue
vol.02
2020
西部版

わたしの住まい
みんなの暮らし

好きなモノに囲まれる
心地よい暮らし

@ Timeless Gallery&Store
@ DLofie's Interior

COZY LIFE
居心地の良い家に暮らす

◆

子どもと暮らす
吹抜けの土間
カフェスタイル
趣味の空間
Rの天井
猫と暮らす
DIY
庭のある暮らし
家事室もミシン部屋
... and more!

わたしの住まい みんなの暮らし［西部版］vol.02
2020年4月27日発行・無料配布
発行人 海野尚史
編集人 鈴木太可志
発行所 株式会社 しずおかオンライン
〒420-0853 静岡市葵区追手町3-11 しずか焼津信用金庫追手町ビル2F
TEL.054-275-3330 FAX.054-275-3331（編集・営業）

もっとたくさん素敵な家を見てみたい！
家づくり、何から手を付けたらいいの？

静岡で
家を建てる人と住宅会社をつなぐ
家づくり情報サイト

WEB イエタテ

「WEBイエタテ」は、静岡県で家を作ろうと考えている人に役立つ情報サイト。
住宅会社の詳細情報のほか、イベントや施工実例、家を建てるためのお役立ち情報などを、
パソコンやスマホでチェックできます。

「わたしの住まい みんなの暮らし」の特設WEBページがあります。

「わたしの住まい みんなの暮らし」で紹介した素敵な事例のほか、フォトギャラリーを見ることができます。気になる住まいがあったら、住宅会社に問い合わせすることもできます。

会員登録でタイムリーな情報を無料で取り寄せることができます。

「イエタテ会員」に登録すると、気になる住宅会社からのイベント情報や現場見学会の案内が受け取れるほか、会員だけのお得な特典に参加できます。

イエタテ

わたしの住まい
みんなの暮らし

Contents

P.04 特集 好きなモノに囲まれる 心地よい暮らし
モノ選びのプロたちから、心地よい暮らしづくりのコツを学ぶ

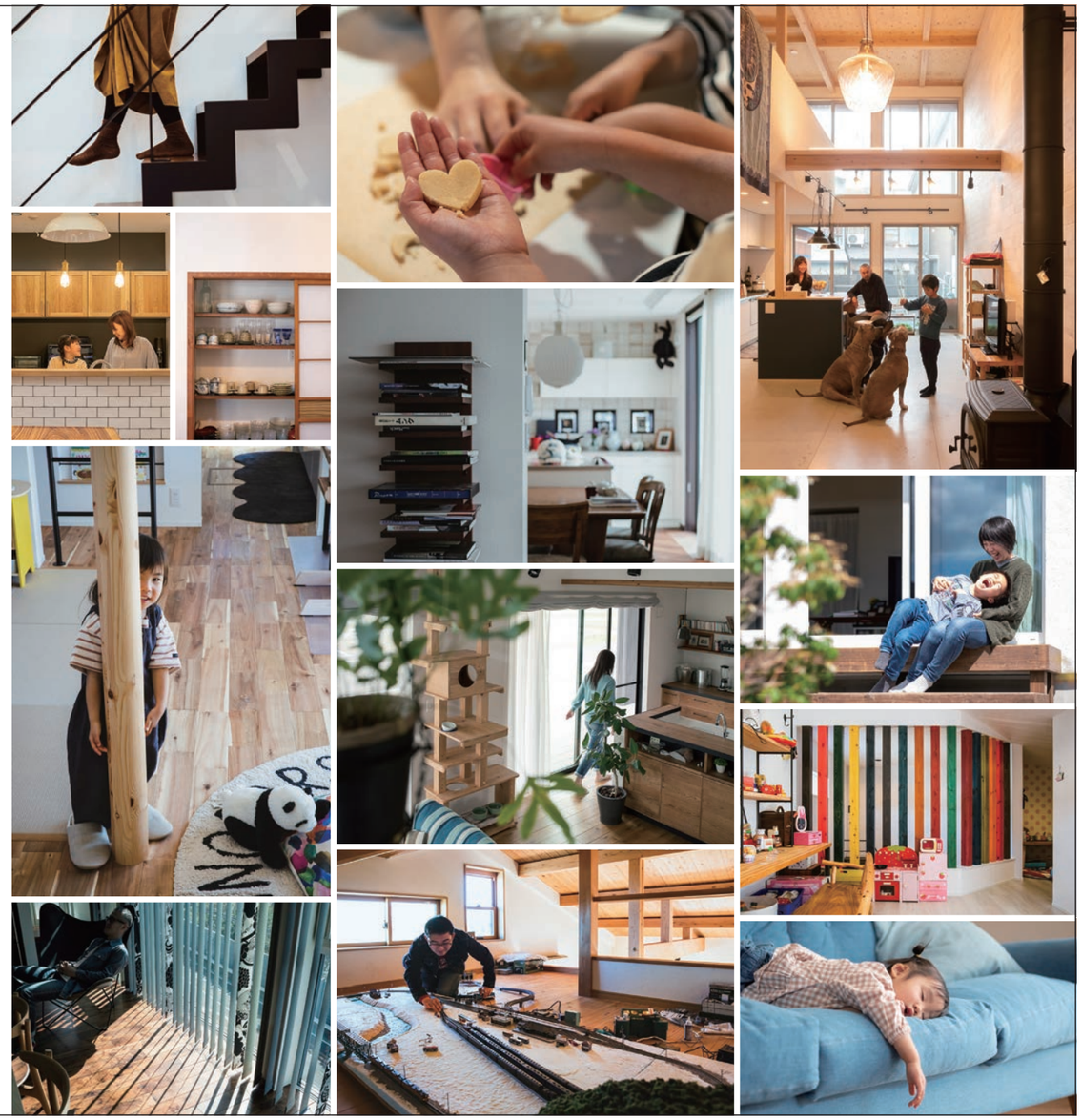
P.09 COZY LIFE
居心地の良い家に暮らす
居心地の良い家を手に入れた人の暮らしぶり、ちょっとお邪魔してみましょう

P.44 BUILDER's GUiDE 会社情報

P.51 コラム 暮らしを楽しむTip
灯りと上手につきあう

P.52 コラム イエタテ相談カウンターK子の
家づくり相談手帖

P.53 資料請求一括お取り寄せハガキ



はじめに

本誌は〝COZY LIFE（居心地の良い暮らし）〟をテーマに、
こころ豊かな毎日を過ごしている人と、
それを叶えた住まいの形を紹介するメディアです。

モノが豊かになり情報が溢れる時代の中で、
わたしたちのライフスタイルは多様化していき、
それに併せて〝住まい〟もさまざまな形に変化してきました。

自然と共にスローライフを楽しむ人、
好きな雑貨やインテリアに囲まれる日々を喜びとする人、
家族や仲間の笑顔が集まる時間を大切に過ごす人。
それぞれの住まいの形は違っても共通するのは、
決まった形にとらわれず、
自分たちが良いと思う暮らしを実現しているということ。
〝理想の暮らしを描く〟ことは、
〝理想の住まい〟を実現するための第一歩です。

あなたは将来、誰と、どんなことをして過ごしたいですか？
夫婦でリビングにくつろいで音楽を聞いたり、
お気に入りのキッチンで子どもと一緒にお菓子を作ったり、
時には一人、部屋にこもって読書に没頭したり…
そんな些細な日常に、かけがえのない幸せが詰まっています。

願わくば、たくさんの人がそんな暮らしを手にするように。
住まいがみんなにとって〝居心地の良い〟場所になるように。

地元・静岡県で叶えた〝素敵な暮らし事例〟を通して、
あなたの理想の暮らし方のヒントが見つかれば幸いです。

気になる暮らしを見つけたら、住宅会社の情報をもらおう

スマホ・PC
① 下記のQRまたは「イエタテまとめて資料請求」と検索しWEBへアクセス
② 本誌の表紙画像をクリック
③ 資料を請求したい住宅会社を選択し、必要事項を入力

ハガキ
① 本誌巻末にあるハガキ裏面の会社一覧をみて、資料がほしい住宅会社にチェック
② 必要事項を記入して、ポストへ投函

その暮らし&住まいをつくってくれたのは、どんな会社？ ＞ 各ページの「BUILDER's GUiDE」のナンバーは、P.40からの「会社情報」に対応。
各社のQRコードを読み込んで、その他の施工事例や会社の特徴などさらに詳しい情報をみてみましょう。

BUILDER's GUIDE P.00 01

好きなモノに囲まれる暮らし

自分が〝好きなモノ〟って何だろう？
色、かたち、使い心地など、心惹かれる理由はさまざまだ。
触れるたび幸せを感じるモノや道具を身の回りに置くことは、
毎日を楽しむ原動力になる。
今回は、モノ選びのプロたちから、
「心地よい暮らし」づくりのコツを教わりたい。

時間軸を外して向き合えば、本当の〝好き〟が見えてくる

新しいものと古いものが隣り合う優しい世界

駿河湾に面した港町・用宗に、7年前にオープンした『Timeless Gallery&Store』。もとは純喫茶だったという建物は、ツタが絡まる外観と、内観を彩る塗り壁や古材を敷いた床が郷愁を誘う。オーナーの花澤さんはプロダクトデザイナー。「手前がショップ、奥がデザイン事務所になっています。ここを選んだ理由は、街の喧騒を忘れて欲しいから」。その言葉通り、訪れる人をやわらかな空気が包み込む。取り扱うのは、彼がデザインしたプロダクト、セレクト雑貨、ヴィンテージ品など幅広い。「例えば楽しい時間はあっという間、辛い時間は長く感じるもの。時の流れは曖昧で、製造年でモノの価値を測ることはできません。時間軸を解放した先にある、自分の価値観を見つめなおしていただけたら」。そう言って、店の中をぐるりと見渡す。

「毎日使うものを選ぶことは、人生の〝相棒〟を選ぶわけだから、迷って当然なんです。カタログを見比べて実物を手に取り、悩み抜く。その手間さえ愛おしい」と花澤さん。「熱量を込めて選んだからこそ、修理してでも使い続けたい」のだと教えてくれた。

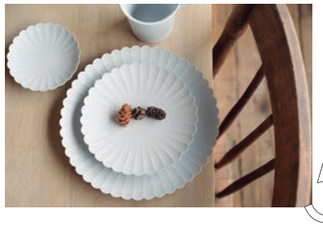
Timeless Gallery&Store
タイムレスギャラリーアンドストア

「とき」をテーマに集められた家具や食器、生活雑貨、オリジナル商品が並ぶライフスタイルショップ。使い続けることで魅力を放ち、暮らしを豊かにするアイテムに出合える。

☎054-266-9981
住 静岡市駿河区用宗1-27-5
営11:00～19:00 休 水 P 2台

心地よい暮らし

花澤さんが選んでくれた、
心地よい暮らしを作り出す
5つのモノ



1. 花澤さんがデザインした「コウマ スツール」（3万1,680円）は折りたたみ式。奥はテーブルレッグ
2. 昭和を彷彿とさせるガラスコップがずらり（各700円） 3.「Frustum」の茶器は、ドイツのプロダクトデザインの権威「レッド・ドット・デザイン賞」を受賞。土瓶8,448円、湯呑1,628円 4. 出産祝いに人気の「おしばなし文庫」。へその緒、乳歯などを収納できる。各3,850円～ 5. 有田焼400年を記念した「TYパレス1616」シリーズは華やか。プレート990円～

花澤啓太さん

『Timeless Gallery&Store』のオーナーでありプロダクトデザイナー。島田市出身。芸大卒業後に家具デザイン、家具職人を経験したのち、2008年に静岡市で『mag design labo.』を設立。商品企画、デザイン、ブランディングのすべてを手がける傍ら、事務所に併設するかたちでショップをオープン。グッドデザイン賞、iFデザインアワードなど受賞多数。

毎日の暮らしにひそむ、駆け引きさえ喜びに

ディスプレイされた商品に共通するのは、過度な装飾はせず、素材感が生き生きと感じられること。それゆえに長く使えること。例えば、花澤さんが美濃焼の窯元と開発した茶器「Frustum（フラスタム）」の湯呑みは、手に馴染む感触、軽さを叶え、口の部分がすぼまるデザインが「飲むたびにお茶の香りを迎えにいく」感覚をもたらす。陶器の重い印象は影を潜め、洗練されたフォルムに魅了される。ミニマルで心地いい、この姿勢は家づくりにも当てはまる。

彼自身、2年前に中古住宅を購入してリノベーションしたばかり。建築士に依頼し、モルタルや木の素材感を活かすモダンな意匠と、収納などの利便性を兼ね備えた〝暮らしやすい家〟を形にした。「家は自分だけの〝好き〟では完成しません。例えばキッチンは妻の管轄ですし、玄関やリビングは自由にしたいけれど、誰かがモノを1つ増やせばバランスが変わる。その駆け引きが楽しい。気になるものはしれっと片付けたりね（笑）」。新築時、一枚板と鉄骨でテーブルを作ったものの、すぐにお子さんが落書きをしたそう。「でも研磨してオイル塗装すれば消せますし、風合いが加わります。子どもと作業すれば家族の思い出にもなる。そんな風に長く一緒に過ごせるものこそ、本当に〝好きなモノ〟に育っていくはず」。この言葉に、すべてのエッセンスが詰まっていた。

〝宝物〟をひとつ見つけて、長く使うことから始めよう

木野さんが選んでくれた、
暮らしを豊かにする
5つのモノ

DIoFre's Interior
ドロフィーズインテリア

「北欧の暮らし」をテーマに、家具、食器、テキスタイル、雑貨を幅広く扱う。デンマークの名作家具や、「キタニジャパン」などの国産木製家具をセレクト。

053-428-3520
住 浜松市北区都田町2706-1
営 11:00～18:00
休 火・水　P あり

1. 柔らかな陰影を生み出す、「ルイスポールセン」のPH5（11万4,400円） 2.「カール・ハンセン＆サン」ハンスJ.ウェグナーのYチェア（CH24）。樹種や仕上げを選べる（11万8,800円～）。テーブルも同作家のもの（33万8,800円～） 3.『ドロフィーズファブリック』には北欧テキスタイルが200種類以上。雑貨、洋服が並ぶ「マリメッコギャラリー」も人気 4. 稀少なヴィンテージが並ぶ陶器ギャラリー（価格は5,000円前後～）。写真はアラビア社の「クロッカス」 5.『ドロフィーズカフェ』2階には、椅子を座り比べできるコーナーも。北欧の名作椅子がずらりと並ぶ

約1万坪もの敷地を散策するのも楽しい。こちらはガーデニンググッズを扱う『ガラスハウス』

『mari&deco bar』でレモネードをテイクアウト（各510円）

木野ゆり奈さん

『ドロフィーズキャンパス』統括マネージャー、インテリアアーティスト。専門学校でインテリアデザイン、コーディネート、設計を学び、設計事務所を経て『都田建設ドロフィーズ』へ。商品の仕入れ、ディスプレイを担当するほか、新築住宅のコーディネート、月に1度の北欧デザイン&ファニチャーセミナーなども行う。

豊かな大自然に囲まれた北欧スローライフの街へ

のどかな田園風景が広がる浜松市北区都田町。その一角に、広大なガーデンやインテリアショップ、カフェ、薪ストーブギャラリー、本屋などが軒を連ねる街並みがある。一帯は『ドロフィーズキャンパス』と呼ばれ、古い倉庫や畑をリノベーション&リガーデンし、地域を丸ごと北欧スローライフの街として再生させた。家具や雑貨全般を扱う『ドロフィーズインテリア』でバイヤー兼コーディネーターとして活躍する木野さんは、「もとは北欧のデザインに惹かれ、次第にモノを大事に使う姿勢、豊かな暮らしに魅せられていきました」と語る。彼女が気をつけているのは「ストーリーのあるものを見極めること」だという。「例えばマリメッコの〝ウニッコ〟は、戦時中、デザイナーのマイヤ・イソラ氏が〝明るい花が人々を元気付けるように〟と願いを込めて生み出したものです」。50年以上を経ても愛される魅力、人と人を繋ぐアイコンとしての普遍性に惚れ込み、マリメッコ本社に掛け合って、日本一の品揃えを誇る正規代理店となったという。

体に馴染む椅子を見つけて、自然を体感する贅沢を

「まず〝好き〟と感じるものを1つ手に入れ、長く使うことが暮らしを豊かにする秘訣です。おすすめは椅子。これほど日常に寄り添うアイテムはありません」。そう話す木野さんが、愛し続ける北欧家具がある。それが「カール・ハンセン&サン」のハンス J.ウェグナーによるYチェアだ。無垢の木の素材感を活かす美しいライン、ペーパーコードの座面が生む包み込むような座り心地。1950年代から愛される名作が、彼女の日常を変えた。「椅子に身を任せ、風の音、鳥の声を聞きながら本を読むだけで心が和みます。テレビをまったく見なくなり、自然を身近に感じるようになりました」。長く使うほどに座面が体に沿って、形を変えていくのも魅力。「旬があるものはいつか飽きて、居心地が悪くなります。〝時間の枠を超えて愛せるもの〟こそ、自分を満たしてくれるはず」と彼女は言う。そんな一品に出合えるよう、敷地内の『ドロフィーズカフェ』には様々な北欧の椅子が採用される。何十年も人々を幸せにしてきた名作から、〝好き〟を見つけてみたい。

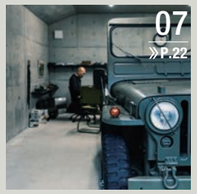
もうひとつ、彼女が北欧の人々の価値観を実感するアイテムがある。「陶器ギャラリーに並ぶヴィンテージ食器は、私がフィンランドの骨董店を歩いて回って集めたもの。一般家庭で使われてきた食器さえ、これほど美しく、丁寧に扱われているんです」。その言葉に熱がこもる。モノを大切に扱い、壊れても修理しながら一生涯使い続ける。そして、子どもや孫の世代へと受け継いでいく姿勢。「すべての人がこの価値観を持てば、世界は変わっていくと思いませんか？」。

〝好き〟が生み出す力は、時代も国境も越えて、未来へと繋がっていく。

COZY LIFE ◆

居心地の良い家に暮らす

居心地の良い家での暮らしって、どんな感じでしょう。
ただ単に家が新しければ良い、というわけではなく、
きちんと手入れがされているか、暮らす人と馴染んでいるか。
心地よい暮らしを手にしている人たちに共通するのは、
そこに住まう人が大切にする軸を持っていて、
その軸を中心に、家が作られているということかもしれません。
居心地の良い家を手に入れた人の暮らしぶり、少しだけ、のぞいてみましょう。



自分のお気に入りを見つけられる、クラフト系のイベント

好きなモノに出合える“市（いち）”

モノに対する知識がないまま、セレクトショップへ行くのはちょっと抵抗がある、という場合には、
いろいろなクラフト系の作家さんやお店が一堂に会するイベントに注目したい。
県内各地で開催されている、マーケット、マルシェ、市などの中から、人気のものをセレクトしました。

ARTS＆CRAFT 静岡手創り市

全国から100以上の作家が出展　テーマ企画も魅力

緑豊かな静岡縣護國神社の境内で、春と秋の年２回開催。器や生活雑貨、アクセサリーなどの手工芸を中心に全国から100以上の作家が出展。「経年変化」「ハレの日の装身具」など、毎回異なるテーマの企画展も魅力。

毎年４月中旬・10月中旬
http://www.shizuoka-tezukuriichi.com

浜松サザンクロスほしの市

地元の食と暮らしが集まる　スカウト型マーケット

浜松駅から徒歩３分の浜松サザンクロス商店街で毎月第２日曜に開催。公募ではなく主催者側から声をかけ、浜松への想いあふれる作り手が集まる。オリジナルラッピングや人と人との繋がりを生む「私の本棚」など、素敵なワクワクがいっぱい。

毎月第２日曜
https://hoshinoichi.com/

Village Mishima Rakujuen

湧水のまち・三島で開催　作り手の顔が見えるクラフト市

富士山の雪解け水が湧き出す自然公園「楽寿園」で開催。会場をひとつの「まち」として捉え、作家や店舗、顔の見える人々によって「まち」の営みが生まれる２日間。器や道具、手工芸、植物などおよそ100のブースが出展。

毎年５月中旬
http://village-mishima.com

アリィの冬と夏2020「Re.6」

丁寧な手仕事にふれる　あたたかなマーケット

70年代の空気感が残る、浜松市南区卸本町の問屋ビル群で開催される企画展。コンセプトは「まざる・かさなる」。陶磁・木工・ガラスなどのクラフト作品をはじめ、お菓子やカフェ、アートなど、全国から150以上のブースが出展。

例年夏と冬の２回開催
https://doubleprojet.com

日本平夜市

ゆるやかな時間が流れる　夜型マルシェ

眺望抜群で夜景もキレイな日本平山頂で毎月第４土曜に開催される夜型マルシェ。グルメや雑貨など60店以上が集まり、素敵な演奏が会場を盛り上げる。お花や植物雑貨、キャンドル、ガラス小物など多彩なアイテムが並び、ワークショップも行われる。

毎月第４土曜
http://nihondaira-yoichi.com

※イベントは延期、中止になる場合があります。おでかけの際は、事前にご確認ください。

吹き抜けの勾配天井や、扉のない緩やかな間仕切りのおかげで家中が明るい。家の真ん中にある階段そばに、黒いアイアンで作られたうんていがある。「お姉ちゃんは、入居後数週間でマスターしましたね」とTさん。「体育館」の言葉通り、パパとママは見守り役で、子どもたちが自由に動き回れるのがこの家の良いところ。でも「『ワンズホーム』さんの家は性能が良くて、室内干しの洗濯物はすぐ乾くし、クローゼットまでの動線も便利。家事負担が減ったおかげで、子どもと遊ぶ時間が増えたと思います」そう話す夫妻。子どもたちが大好きな絵本を読み聞かせたり、庭で遊んだり、2階の天窓から雲を眺めたり。何気ない日常を、慈しむように味わっていた

COZY LIFE 01 ◆ #子どもと暮らす #建築家と建てる家 #室内うんてい

笑い声が響くたび、幸せを実感する毎日

「家のイメージは『体育館』。大人はリビングの隅のソファに座って、家中を駆け回る子どもを見守るんです。ね、うちって、体育館みたいでしょう？」

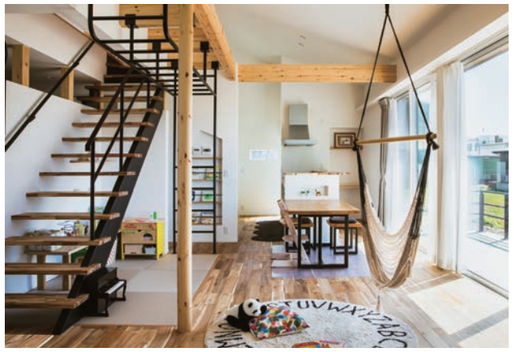
屈託のない笑顔でお子さんを見つめながら、優しい声で語るTさんの仕事はスポーツトレーナー。スポーツ好きが高じて、運動する人を支える仕事を選んだのだそう。奥さまは運動が得意ではないけれど、「アパート暮らしの頃から続く日課は、毎朝家族みんなのお弁当を作ること。主人は仕事、私と娘たちは公園へ。たっぷり遊ばせてあげたくて」そう柔らかく笑う。視線の先には、いつも2人の女の子がいる。夫婦にとっては「子どもがのびのび遊べること。笑顔でいること」が大事。だから新築するなら「雨が降って公園へ行けない日でも、我が子が心から笑える家」が理想で、それを叶えたのがこの住まいだ。

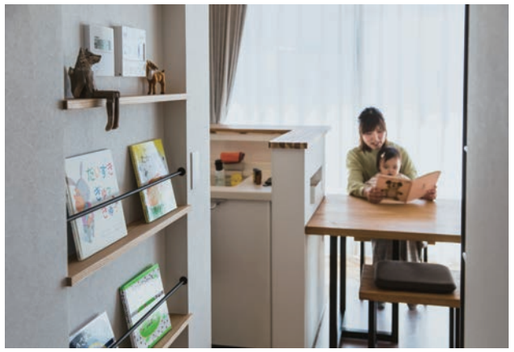
『体育館』を形にするために、1階は玄関土間からリビング、ダイニング、キッチンまで一直線で結ばれ、寝室以外がワンルームのようにつながる。壁の上部がカットされて、廊下の向こうにあるクローゼットやランドリールームまで光と風と音が通り抜ける。「一番のお気に入りは、黒いアイアンで特注したうんていかな」とご主人。すでに2歳のお姉ちゃんは一人で登れて、いつか柱を登り棒がわりにする日も近そうだ。1階全部はもちろん、将来子ども部屋になる2階フリースペースまで自由に行き来して走り回る。1歳になる妹は歩くための練習中だけれど、「子どもがどこにいるのか、すぐわかるので安心ですよ」そう奥さまは目を細める。

この開放的な空間は、大きな窓とテラス越しの庭にも続く。「友だち家族を招待してバーベキューをしたいね」「手付かずの敷地に砂場や走り幅跳びができる場所を作って、それから芝生も植えて…」そんな夫婦の会話は、幸せな物語の一部のように心に響く。

Tさんの楽しみは、子どもたちが眠った後に夫婦でゆっくり話をすること。時にはソファに寝転んでテレビを見ながら。時にはお茶を飲みながら。一年中あったかくて、広くて、明るい家が、子どもを見守る夫婦の幸せを紡いでいく。

家の中が体育館なら、庭は運動場。小さな砂山があったり、タイヤを埋めた遊具があったり





上.階段下にスタディカウンターのある畳コーナーを設計し、おもちゃ置き場として活用。中央の柱に、子どもの身長を記していくのも楽しみ　中.キッチン横のブックニッチにはお気に入りの絵本をディスプレイ　下.LDKの大きな窓の外には、広々としたデッキテラス。子どもたちが遊びまわる姿も景色の一部に

OWNER'S PROFILE

「平屋育ちで、新居もLDKと寝室を1階にまとめた平屋ベース。憧れの2階は吹き抜けでつながるフリースペースに」とご主人。この工務店を選んだ決め手は、「子どもを優先してくださるスタッフの人柄」だそう。

BUILDER ワンズホーム

建築家の設計と工務店の家づくりがコラボレート。現場監督・コーディネーター・大工まで、ワンチームとなって真摯に向き合う。上手なコスト管理、素材を活かすデザイン、全館空調の快適性が魅力。

BUILDER'S GUIDE P.44 01

リビングの窓辺で庭を眺めながら一休み。大きな掃出窓は四季を描くキャンバス、静寂の中で薪の燃える音だけがパチパチと鳴り響く

自然と繋がり、暮らしを丁寧に愉しむ

春とは名のみの小寒い風が頬をかすめる昼下がり、築11年を迎えたI邸を訪ねた。玄関先のガレージには、カラフルな自転車がずらり。家に入ると、吹抜けの玄関土間の広さに息をのむ。「ここまでが外、ここからが内と明確に仕切らず、内と外が緩やかに繋がるように土間を設けました」というご主人の言葉通り、どちらともとれる曖昧な空間が、何とも言えない開放感と心地よさを醸し出している。

土間からLDKに上がると、使い込んだスギの床の柔らかな感触が足にやさしくなじむ。漆喰の壁は新築当時と変わらぬ白さを保ち、窓から射し込む光を反射して、室内を明るく照らす。「素朴な材を使って、手間をかけて丁寧に建てた家です。既製品は使わず、家具も手づくりのものがほとんどです」とご主人。

室内は、外の寒さを忘れさせる程の暖かさ。「うちは薪ストーブのヘビーユーザーで、10月から3月頃までほとんど毎日使っています。薪ストーブって、火を点けて暖まるまで1時間程度かかるんですよ。だから、時間に追われた生活を送る日本人にはあまり合わないかもしれません。でも僕たちにとっては、もはや暖房器具というよりもライフスタイルそのものです」と語るご主人は、毎朝5時半に起き、家族の起床時間までに薪ストーブで部屋を暖めておくのが日課。また、夕食後には自然と薪ストーブの周りに家族が集い、揺らぐ炎を眺めながら会話の花を咲かせるという。一方、夏は、窓から窓へ抜ける風と、ひんやりとした土間が家中に涼をもたらしてくれる。周囲の自然と上手に付き合いながら、暮らしを丁寧に愉しむ夫妻の穏やかな笑顔が眩しい。

「子どもの手が離れ、自分の時間に少しゆとりができました」と語る奥さまは最近、発酵食品と絵本収集に夢中。一方、ご主人は家を建てた頃から自転車が趣味。「夫婦で一緒に長く楽しめる趣味を持ちたくて自転車を始めたんですが、私はなかなか付き合えなくて（笑）。でも、最近はマウンテンバイクに乗ってみたくなりました」と語る奥さまの傍で、ご主人が嬉しそうに微笑む。これからはようやく二人で共通の趣味を愉しめそうだ。

薪ストーブは家族の暮らしに欠かせない存在。ピザや煮込み料理作りなどに利用することも

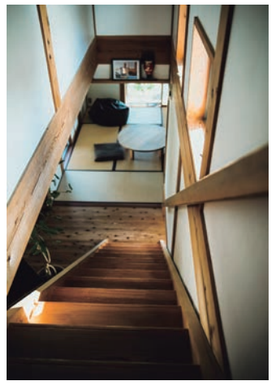
OWNER'S PROFILE

夫妻と高校生・中学生のお子さま、そして愛犬メルが暮らすI邸。ご主人は『桂建設』の大工職人で、自宅も自身で木工事を手掛けた。ご主人は自転車、奥さまは料理と絵本収集が趣味。

BUILDER 桂建設

「日々を愉しむ家をつくる」をコンセプトに、丁寧な木の家づくりを手がける工務店。無垢材や漆喰などの自然素材を用い、パッシブデザインを採用して、心地よい空間と心ゆたかな暮らしを提供する。

BUILDER'S GUIDE P.44 02



1. ウッドデッキでハンモックに揺れながら愛犬と戯れる午後のひととき　2. キッチンの背後の食器棚は造作品。パントリーには発酵食や保存食の瓶詰が並ぶ　3. 階段を下りた先に和室がある。普段は引き戸を開け放ち、室内も緩やかな繋がりを持たせている　4. 南面には土庇（柱を立てた深い庇）が設けてあり、雨の日でも窓を開けて風情を愉しめる。庭のコナラの樹々は、夏になると葉を繁らせて木陰をもたらし、冬は葉が落ちて光を室内に採り込める　5. 愛犬のケージと自転車を置いても広さに余裕がある土間。いずれはここでご主人に教わりながらDIYをやるのが奥さまの夢　6. ガレージには自転車を10台格納。ご主人の凝り性ぶりが窺える

COZY LIFE 03 ◆ #プロヴァンス #かわいい家 #カフェスタイル

憧れの南欧風の家でワクワクする子育てを

海外のテレビドラマや「魔女の宅急便」の世界に憧れ、家を建てるならプロヴァンス風にしたいと夢見ていた奥さま。自分の好きなものだけでつくり上げたマイホームはすべてがお気に入り。今まで雑誌やインスタの中だけの世界だった無垢の木、漆喰、タイルが今は生活の一部。「当たり前にあること、その中で生活していることに幸せを感じています」。

暮らしのベースになっているのは「自然」だ。素材そのものだけでなく、色調を白・茶・緑のアースカラーで統一しているのが印象的。「洋服も茶系が多いです」という奥さまのクローゼットは見事に白・ベージュ・茶のグラデーション。“好き”のあふれる思いが隅々まで行き届き、やさしい空気感を生んでいる。

大好きなグリーンや雑貨を飾り、次のインテリアを想像するのもワクワクするが、まだまだ子どもたちから目が離せない、子育て中心の生活。家の真ん中に構えたキッチンからは、子どものお風呂の着替えも、リビングでテレビを見ている様子も、庭で遊ぶ姿もすべて見渡せる。かわいい家づくりも、間取りや動線はやはり子育て目線だ。子どもたちを見守り、触れ合う時間を大切にしている日常が垣間見える。そんななか、庭のある暮らしも家族にとって大きな変化だったよう。「庭づくりは長男もお手伝いしてくれたんです。門柱と枕木以外はほぼ自分たちで、お金を掛けず工夫してつくりました」。リースづくりが趣味の奥さまはユーカリの木を植樹。庭のグランドカバーも手作りで“自分らしいのが味”と微笑む。子どもたちが走り回っている横で草むしりをするのもすっかり日課となったよう。「庭で思いっきり体を動かしてうれしそうにしている子どもを見るだけで、家を建てて良かったなと思います」。

テラスはビニールプールのサイズを元に、奥行きや柱の間隔を決めたほど。そのおかげで、子どもたちはのびのびとテラスと家の中を行ったり来たり。お友だちが遊びに来たら、日陰でオープンカフェも楽しめる。家も庭も自分好みにアレンジし、アンティークのように味わい深くなる我が家もまた楽しみにしている。

まるで映画のワンシーンのような一面。「今日はお外で遊ぼう！」とお母さんを連れて庭に出てきたお子さん。芽を出した季節の草花を見つけたり、一緒に苗を植えてガーデニングを楽しんだり、花々にお水をあげたりする時間も大好き。「小さいうちから自然にいっぱい触れて、想像力豊かで優しい子に育ってほしいですね」とお母さんは笑顔で話す

右.アンティーク風の照明はナチュラルな雰囲気にぴったり。場所ごとにタイルの大きさや目地の広さを変えるなどディテールにもこだわった。飾り棚にはお気に入りの器を飾り、愛着のあるものが増えていくのが楽しい　中.ゆったりティータイム。「今日はこんなことして遊んだよ！」と楽しそうにおしゃべりする　左.全開口のドアを開け放つと、テラスとひとつながりに。「ママが来た！」と階段をかけおりていくお子さん

お気に入りを詰めこんだキッチンで毎日料理も楽しく！

OWNER'S PROFILE

磐田市在住。元保育士で現在は2児の母。手編みのモチーフでヘアアクセサリーや、リースを作るのが趣味。時間に余裕ができた時には自宅ショップのようなものを開けたら素敵だなと夢を膨らませている。

BUILDER　casa carina浜北

「かわいくて、賢い」をコンセプトにした南欧風住宅「カーサカリーナ」を手掛ける。老舗材木店ならではの優良材を使用したクオリティの高い家づくりに定評がある。

BUILDER'S GUiDE P.44

上右.コーヒーを入れて旦那さんとゆっくりとお話。夫婦2人の時間も大切にしている　**上中.**ステップ型の収納ボックスを上りロフトへ。ご主人の「秘密基地」計画が進んでいるんだとか　**上左.**アイアンで作られたスマイルのブーケかけ。こだわったデザインが垣間見え、幸せな気分に　**下右.**「こんにちはー！」と元気な声が聞こえてきたと思ったら、なんとお子さんたちが滑り台から登場！　**下左.**「tonokEn」オリジナルのアイアン照明。好みのテイストに鉄を加工し、オンリーワン仕様に仕上げてくれる

COZY LIFE 04 ◆ #ジャングルリビング　#滑り台　#カフェスタイル

えっ？リビングの中に本物の滑り台!?

デザインや暮らしやすさよりも「遊び心」を優先したいご主人と、流行へのアンテナが高く、おしゃれな空間を求める奥さま。そんなこだわりの強い夫婦が建てた家が楽しくないはずがない。

さっそくお邪魔してみると、リビングに巨大な滑り台がデ〜ンと設置してあり、2階から姉と妹が「ヤッホ〜」と次々に降りてくる。呆気にとられていると、今度は「体育館」と呼んでいるアスレチック部屋にご案内。雲梯にぶら下がり、バランスをとるのが難しいスラックラインも難なく渡る。さらにボルダリングを登ってトンネルを抜け、ロフトへと2人は消えていった。家全体がまるでジャングルジムと化しているかのようだ。「ま、我が家はいつもこんな感じですよ」とご主人は涼しげな表情で話す。

「遊び心」という言葉さえ陳腐に聞こえてしまうほど、インパクトが大きいF邸。それにしても、なぜこんな家を作ろうと？「ずーっと前から、家の中に滑り台があったら楽しいだろうなぁと漠然と思っていたんです。工務店の社長さんにそのことを話すと、いいじゃん、やりましょうよ！ってことになっちゃって。ちょっとやり過ぎましたかね（笑）」。もちろん、子どもたちのためにという想いもあるだろうけれど、もともとスポーツ万能の夫婦なので、自分たちも家の中で楽しみながら身体を鍛えたかったのかもしれない。

庭に出ると、ウッドデッキと鉄棒があり、子どもたちは太陽の光を目一杯浴びながら逆上がりを繰り返す。目の前のきれいな小川では、魚釣りや川遊びも楽しめる。「私が子どもの頃は、こんな田舎に住んでいることが恥ずかしくて嫌でした。でも今は、人から羨ましがられるほど自然に恵まれた環境に、こんなワクワクする家を建てることができて、両親に感謝しています」と奥さまが微笑む。

将来、「体育館」を改装してカフェを開きたいという夢がある。その日に備えて、料理教室やお菓子教室にも通っているそう。アイシングクッキーが得意で、子どもたちからも好評だ。夢が叶った頃、リビングの滑り台で遊んでいるのは「お孫さん」かもしれない。

もともとは布団干し用に作った鉄棒。目の前の広い庭にバスケットコートも近々作る予定

OWNER'S PROFILE

元バスケットボール選手でスポーツ万能のご主人と、おしゃれで料理好きな奥さま。6歳年上の奥さまもバスケ経験者で身長176cm。遊び盛りの3人の子どもたちと自然豊かな環境で暮らす。

BUILDER tonokEn

「こだわり」と「遊び心」を大事に、予算内で施主さんの夢をカタチにしてくれる設計工務店。「ないのなら作っちゃえばいいじゃん！」というトノオ社長との家づくりはきっと楽しいはず。

BUILDER's GUiDE P.44 04

上.「家の中に滑り台があったら楽しいだろうな〜」。ご主人の何気ない一言が現実になった本物の滑り台。子どもたちはこの上で今日の学校での出来事などを楽しそうに話す　**下右.**子ども部屋代わりの「体育館」からボルダリングを登ってロフトへ。さすがスポーツ万能夫婦の子どもだけあって、運動神経はバツグン！　**下左.**「体育館」と名付けられたフリースペース。スラックラインやボルダリングで元気いっぱいに遊ぶ！

COZY LIFE 05 ◆ #木の大テーブル #趣味の空間 #自然との一体感

樹齢300年のテーブルに集う家族の笑顔

竹林を渡る風が、サラサラと音を立てて笹の葉を撫でていく。どこからか、ウグイスのヒナのつたない鳴き声。どの部屋からも周囲の風景が目に入り、自然との一体感を味わえる。

自然の中でのんびり暮らしたくてこの土地を選び、住まいを構えたという0さん一家。「入居して8年、ごく身近に自然を感じ、生かされていることの喜びに満たされた毎日です」と奥さまが朗らかに語る。

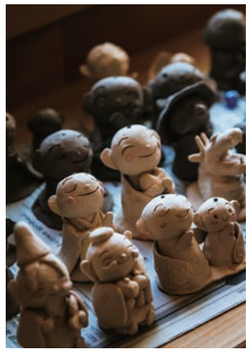
無垢の床をベースに、変木や丸太柱などをふんだんに用いた室内は、周囲の風景とよくなじむ自然素材の空間。LDKの中央には、樹齢300年のスギでできた大きなテーブルがどっしりと構えている。ここで家族が食を囲み、会話を愉しみ、あるときはお子さまの学習や工作スペースに、あるときは奥さまの家事スペースにと、家族の暮らしのメインステージとして多彩に活躍してきた。

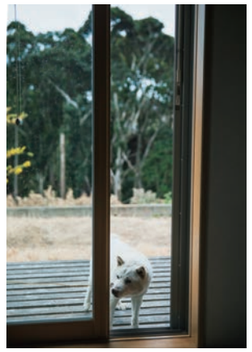
特筆すべきは、入居以来、奥さまがこのテーブルを使って陶芸を続け、趣味を仕事へと昇華させていったこと。もともとは幼稚園のママさんサークルで始めた陶芸だったが、「今の恵みに感謝を込めて、皆さんにしあわせをおすそ分けしたい」という思いから地蔵人形を作り始めたところ、口コミで徐々に製作を依頼されるようになった。

土をこね、作陶し、自宅の窯で素焼きをし、絵付けを施し、釉薬を塗り、本焼きをする。窯焼き以外のほとんどは、この大テーブルで行っている。そのため、家族が奥さまの創作風景を目にする機会も多く、みんなで作家活動を応援してきた。

最近は長女も感化され、小さな陶芸家として母親と一緒に個展を開く程の腕前に。さらに、ご主人はギター、長男はジオラマ作りと、それぞれに趣味を持ち、充実した日々を過ごしている。「別々の部屋で趣味を楽しんでいても、おやつや食事の時間はいつも一緒。テーブルに家族みんなが集まって、趣味や仕事の会話で盛り上がります」と奥さま。

大テーブルに家族が集い、語り、喜びや悲しみを分かち合って8年。樹齢300年の年輪に家族の年輪を上書きし、これからも笑顔の絆を紡いでいく。





樹齢300年のスギのテーブルは2畳以上の大きさ。暮らしの中で多彩に役立ってきた

上.大きな木のテーブルで、奥さまが陶芸セミナーを開いたり、友人たちを招いて食事会を楽しむことも **中右.**竹林を借景にした庭のウッドデッキから、愛犬が顔をのぞかせる **中左.**土色をした素焼き前の人形と、素焼き後の人形。どれも1つ1つ表情が異なり、かわいらしい笑みを浮かべている **下.**自身の趣味部屋でギター演奏を楽しむご主人。音楽仲間とバンド活動を行っている

長女の作陶を指南しながら、親子一緒に創作活動にふけるひととき。大きなテーブルの上で土をこね、手のひらに納まるサイズのかわいらしい地蔵人形を作り上げていく。「土に触れると、何かに導かれるかのように自然と手が動きます」と奥さま。窓の外では竹林の笹が風に身を委ね、しなやかに揺れている。周囲の自然から創作のインスピレーションを得ることも多い

OWNER'S PROFILE

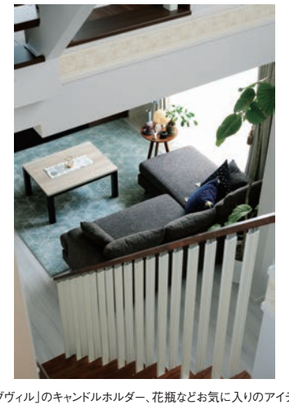
築8年の家に暮らす0さん一家。奥さまは地蔵人形などを作る陶芸作家。小学6年生の長女も小さな陶芸家として活躍中。ご主人はギター、長男はジオラマ作りとそれぞれに趣味を持つ。

BUILDER 桧の住まい 磯建(磯部建設)

自社で自然乾燥させたヒノキ材でつくる大自然の家を、若い世代にも手の届く価格で提供。6層構造の屋根により、遮熱、断熱、遮音性にすぐれ、人や環境にやさしい住まいを実現する。

BUILDER'S GUIDE P.44 05

「ディスプレイラックがあること」を条件に探したキッチンはLIXILのもので、ドイツ製食洗機「ミーレ」を導入できるよう細かくオーダーしたそう。そのラックには、奥さまが大好きな北欧食器「クイストゴー」や「グスタフスベリ」が飾られ、「リサ・ラーソン展」で購入したフクロウもちょこんと座る。このキッチンを軸に、洗面や浴室、ダイニングなどを回遊できるレイアウトが便利。上を向けば、3階の天井が見える吹き抜けと、2列の階段が非日常感を演出する



右.ちょっとしたスペースにテーブルを置き、「ブルーミングヴィル」のキャンドルホルダー、花瓶などお気に入りのアイテムを飾っている　**右中**.玄関は広く、大理石調の素材感がシンプルで上品。「ケーラー」のフラワーベース「オマジオ」に季節の花を添えて　**左中**.3階までをつなぐダイニングの吹き抜けと、ヨーロッパ調の階段が広さを演出。どこからでもリビングの様子がわかる造り　**左**.玄関前には、建築学科出身のご主人が持つ、DIYグッズが並ぶシャッター付き収納がある。「もとは介護が必要な祖父母のため、予備電源を収納できるように造ってもらいました。ドリルやノコギリをしまうのにも役立っています」

COZY LIFE 06 ◆ #北欧スタイル　#やっぱり家が好き　#DIY

家族の“思い”を飾る楽しみ

「新居で初めて迎えた私の誕生日。主人が内緒で用意してくれたのが、ティファニーのマグカップでした。もったいなくて使ったことはありません（笑）」そうはにかむ奥さま。以前インテリアショップで働いており、北欧ヴィンテージや優しい色合いの雑貨が大好き。この家は、そんな彼女の意見をベースに設計されている。オープンラックを備えたキッチン、大きなディスプレイニッチ、階段下の装飾棚など、随所にセンスよく配置された雑貨たち。「これは主人と行った名古屋のインテリアショップで買ったもの。これはWebで探した北欧食器」そんな言葉から、思い入れと、夫婦の記憶がふわりと漂う。

ご主人の趣味は車。「ちょっと行ってくるね」と言い残して、気軽に山梨（！）まで運転するほどドライブが大好きだ。彼が休日に1人で出かけてしまうと、奥さまは自宅で模様替えを楽しむ。季節の小物を飾ったり、買ったばかりの雑貨を置くスペースを作ったり、隣の祖父母の家からもらってきた庭の花を生けたり。「ただいま」そうドアを開けたご主人は、すぐにディスプレイの変化に気がつき、感想を教えてくれるという。好みが異なる夫婦だけれど、3か月に一度の温泉旅行は共通の趣味だ。「旅先はいつも和風旅館。温泉が好きなんですが、帰宅すると“家もいいな”と毎回感じます」そう彼らは笑う。

“食事は一緒に”を心がけ、休日はご主人が調理を担当する。使う食器は2人で選んだ北欧テイストの陶器で、食洗機は彼がこだわって導入したドイツ製の「ミーレ」。この家にあるものすべてに“好き”が凝縮され、暮らしぶりからお互いを尊重する姿勢が伝わる。例えば、ご主人は1人で出かけるのが好きだけれど、奥さまがリビングからグリーンを眺めたいと言えば、DIYでテラスにパーゴラを作ってプランターを吊り下げてくれた。東京で開催された「リサ・ラーソン展」に車で連れて行ってくれたことも。鮮やかなグリーンや、リサ・ラーソンの作品が彩る空間で2人はくつろぐ。「次はこれを買おうかな」「草津温泉良かったよね」。何気ない会話に息づく、お互いを大切に思う気持ちから、充実した日常が垣間見えた。

ティファニーのマグカップが収まるラックはDIYで壁に設置。紅茶缶やプレート、雑貨も一緒に

OWNER'S PROFILE

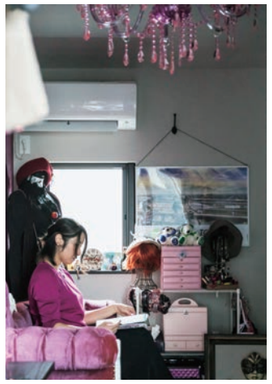
ご主人は車の手入れやドライブ、奥さまはインテリアが大好き。祖父母の介護のため、隣の土地を購入して新築することに。「朝日住宅」の担当者との打合せが楽しすぎて、家の完成が寂しかったほど。

BUILDER　朝日住宅

家族の暮らし方、好きなものを丁寧に汲み取り、気持ちに寄り添った家づくりを行う。「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー特別優秀賞」を2018年から2年連続で受賞するなど、高い住宅性能も魅力。

BUILDER's GUiDE P.44 06

スキップフロアは家族団らんの場所。1つの空間にいるつながりを感じつつ、ゲームをしたりお話したりと、それぞれ好きな時間を過ごす



子育ても自分の趣味も楽しむ理想の暮らし

老朽化が進み、故障もしくは廃車同然の車やバイクを修復して、乗れるように再生させることを“レストア”という。幼少の頃から工作が得意だったご主人は、10年前からこのレストアの魅力にハマり、自分で作ったジープを保管するための広いガレージが欲しくて新築した。

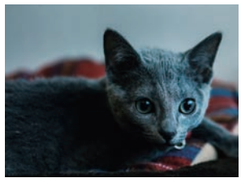
建築家に依頼して完成した住まいは、地下1階がRC造のガレージで、その上が木造2階建ての住居。36.3畳のガレージには、「ウェポンキャリア」と呼ばれる2台の大きなジープがある。朝鮮戦争やベトナム戦争の時代に活躍していたアメリカの軍用車輌だったという。その割に新しいなと思ったら、なんとご主人が4年をかけて一人でレストアしたものだった。

「完成したら意外とつまらなくて（笑）。車をバラして、部品を組み立てて、磨いて、塗装する過程が面白いんですよ」とご主人。ここでメンテナンスしたり、プラモデルを作ったり、車の雑誌を読んだりして、自分だけの時間を楽しんでいる。

一方の奥さまも、漫画本を読んだり、フィギュアを収納したりするための専用部屋を持っていて、最近は人気漫画の影響を受けてママ友とサイクリングを楽しんでいる。奥さまはスケッチがとても上手で、趣味部屋のイメージも自分でイラストを描いて建築家にリクエストしたそう。

ガレージを広く確保した分だけ、住居部分の面積が限られてしまったので、6人家族が住んでも窮屈に感じないよう、短い階段で縦につながるスキップフロアを採用した。子どもたちの個室はあえてつくらず、成長に応じてフレキシブルに使えるような進化する間取りが特徴だ。「子ども部屋を作りこんでしまうと、いずれ無駄になるでしょ。今は大家族でも、子どもが巣立った後の夫婦二人だけの時間の方が圧倒的に長いので、僕たちは将来の暮らしを見据えた、趣味を重視したプランをお願いしました」とご主人が語る。

4人の子育て真っ最中なのに、疲弊した様子は微塵もなく、それどころか自分たちの趣味を存分に楽しんでいる夫妻。そんなイキイキとした両親の姿を見て育つ子どもたちが明るくて、素直で、創造力豊かになるのは当然のことかもしれない。



新しく家族に加わったしずくちゃん。仲良し4兄弟にかわいがられ、時に奪い合いになることも

1. 建築家住宅ならではのエッジの効いた外観デザイン。敷地の高低差を活かし、地下をRC造のガレージ、住居部分を木造の混構造とした　2. 自身がデザインした空間で、本や漫画を読むのが奥さま至福の時間
3. 大好きな漫画の影響で、2年前からサイクリングをはじめた奥さま。愛車は「Bianchi」。ご主人のガレージでメンテナンスする時間も好き　4. 劣化や故障などにより廃車となった車を修復して再生する“レストア”が趣味のご主人。1951年式のアメリカ製軍用車輌「ウィリスM38」は実に4年をかけて、一旦ばらし、組み立て、磨いて、塗装した

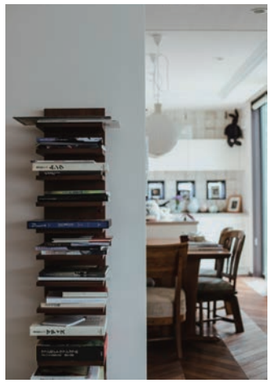
OWNER'S PROFILE

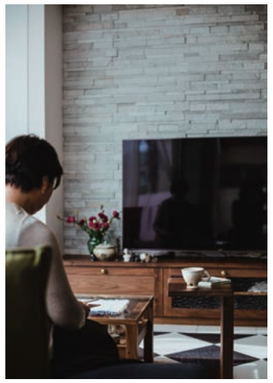
趣味のバンドで知り合って結婚したTさん夫妻。12歳、11歳、8歳、6歳の4人の子どもを育てながらも、ご主人はレストア、奥さまは漫画やサイクリングなど、自分だけの時間も楽しんでいる。

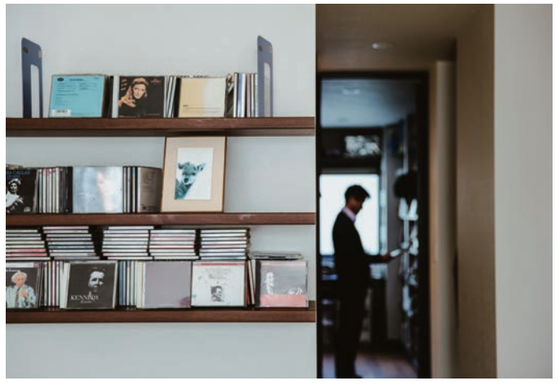
BUILDER MABUCHI

3,000人の建築家とあなたをマッチング。想い描く将来の夢や暮らし方は十人十色。そうした想いに“想像を超える空間デザイン”で応える。ときめきと暮らす歓びを毎日感じられる住まいを実現する。

BUILDER'S GUiDE P.44 07







2 3 1 4 6 5

1. 高い天井と大きな開口部が開放感を生み出すリビング。鏡面のような輝きを放つチェックのタイルは床暖房仕様　2. 宙に浮かんでいるように見えるブックタワーには、いつも手元に置いておきたいお気に入りの画集を飾って　3. その日の気分によってチョイスした本と茶葉を楽しむ　4. ハーブティーの香りに癒される午後のひととき。器もすてきなものばかり　5. 上質な空間を彩るクラシックのCDコレクション。奥に見えるご主人の書斎にも壁面いっぱいに書棚を造った　6. 本を読み終えたら夕飯の支度。リビングからステップを上がりキッチンへ。「好き」を詰め込んだ空間は毎日心が弾む

「CUCINA（クチーナ）」のオーダーキッチンがアンティーク調のタイル、ステンドグラスと絶妙に調和し、料理タイムを華やかに演出する

COZY LIFE 08 ◆ #平屋 #クラシックモダン #ステンドグラス

いつだって大好きなモノに囲まれていたいから

美しい薔薇のステンドグラスは、浜松市内の女性作家が奥さまの雰囲気に合わせて製作

将来に向けて、これからどんな暮らしをしようかと決めかねていたOさん。「まずは行動しないと」と夫婦で初めて訪れた住宅展示場内のモデルハウスに、奥さまは一瞬にしてハートを射抜かれた。「ラグジュアリーなのに尖っていない、上質な雰囲気に惹かれました。この世界観を我が家で表現できたら、きっと毎日が潤いに満ちて心豊かに暮らせるだろうなぁとイメージがふくらみました」。

それから2年。100坪の広大な敷地を活かして完成した平屋は、住宅街にほどよく馴染みながらも特別な存在感がある。ギャラリーのような洗練された玄関ホールに明かりを届ける、薔薇をモチーフにしたステンドグラスは奥さまの宝物だ。

ともに、本と音楽が大好きなお二人。普段は開放感あふれるリビングで、バッハの交響曲に耳を傾けたり、お気に入りの画集やスポーツグラフィック誌を読んだり、思い思いの時を過ごす。本やレコードを並べた造作の収納棚には扉を付けず、「見て楽しむ」暮らしを演出した。

そこから2段ステップを上がると、夫婦が最もこだわったクラシックモダンのダイニングキッチンが広がる。ヘリンボーン張りの無垢の床、CUCINAのオーダーキッチン、アンティーク調のタイル、レ・クリントのペンダントライトなど、本物の素材だけが持つ質感や細部にまで徹底されたデザインは、新築なのに何年も前から住んでいるような心地よさを感じるという。

ぐるりと回遊できるワンフロアでありながら、複数の段差を設けたことで目線の高さが変わり、飽きることがないと語るご主人。書斎は、天井まで届く大きな書棚に蔵書がぎっしりと収まり、主寝室の書棚には奥さまが敬愛する作家たちの小説が美しく並ぶ。そこから一冊を持ち出して、リビングのソファでハーブティーを飲みながら、静かにページをめくる時間が夫婦にとって最高の贅沢だ。

これから庭でツル薔薇を育て、外壁全体に這わせたいという大きな夢もある。別荘のような非日常的な空間で、いつでも大好きなモノだけに囲まれて過ごす日々。そんな暮らしが夫婦の人生をより豊かに熟成させていく。

OWNER'S PROFILE

夫と妻の二人暮らし。転勤族だったが、ようやく勤務先のエリアが固定されたのを機に新築を決めた。夫婦ともにスポーツ観戦が趣味で、ラグビー、野球、サッカーもよく観に行く。

BUILDER デザインハウス

全棟耐震等級3、高気密・高断熱の安心で快適な家づくりをベースに、レベルの高い自由設計で、「世界にたった一軒のあなただけの家」をデザインする設計・施工会社。

BUILDER'S GUiDE P.45

COZY LIFE 09 ◆ #コンパクト #Rの天井 #クラフト

手づくり感と四季を愉しみ、ていねいに暮らす

ご主人の勤務先が街なかにあることから、中心市街地の近くで新しい住まいを考えていたHさん。時間をかけてようやく見つけたのは、間口6m、奥行き32mという細長い形状の土地。「見た瞬間、ここだ！って思いましたね。街なか近隣とは思えないほど静かで、周辺は無機質な古い建物が多くて。なんだか「秘密の場所」を見つけたような、不思議な感覚が気に入りました」とご主人は語る。

育休中の奥さま、保育園に通う2人の娘さんとの4人暮らし。マスメディアの業界で働くご主人と奥さまは、多趣味な自由人であることに加え、ていねいで落ち着きのある暮らしを愉しむセンスに長けている。クラフト作家による手づくりの作品が好きで、旅の先々で出会った照明や革製品などを買ってきては、空間に上手に取り入れている。「家も家具も料理もそうだと思いますが、作り手の顔が見えるものって、使う人の気持ちを豊かにしてくれますよね」と微笑む奥さま。休日は、「男の料理当番」と題して、ご主人がキッチンに立ち、家族やゲストにプロ顔負けの本格的な料理をふるまう。カメラも長年の趣味で、ふらっと出かけた先や、日常の何気ないシーンを切り取った趣のあるフォトグラフがニッチに飾られている。

熟練の大工が無垢の木を「手きざみ」加工で仕上げた室内は、和とモダンさがうまく重なり合い、落ち着いた時間が流れる。玄関からリビング、ダイニングに向かうに連れて天井が高くなり、目線の先には舞台のようなひな壇状の庭が広がる。ダイニングの天井がカーブを描いていたり、外と中のつながりを感じることから、狭小地とは思えないほどの開放感。小上がりの畳コーナーにちょこんと座ると、ちょうど目の高さに四季折々の庭の花々が見える仕掛けで季節を愉しめる。

無駄なものを省き、コンパクトでもおおらかに暮らせる家に喜びを感じるという夫妻。職業柄、さまざまな業界の人々との交流があり、自宅に招くこともしばしば。「Hさんらしい家だねと言われるのが一番嬉しいんです」とご主人。住みたい場所で、思い描いたものをカタチにして暮らす。これほど贅沢なことはない。

大工の手しごとが冴え渡るヒノキの階段。高さ、奥行き、傾斜まで緻密に計算されている

上.造作のキッチンを壁付けにして、リビングを広く　**中右.**土間仕上げの玄関ホール　**中左.**2ボウルの洗面室。ご主人は娘さんと一緒に手を洗う時間が好き　**下右.**料理が得意なご主人。フレンチ、イタリアン、中華など何でもOK！　**下左.**イベントや庭を見て過ごす時間を楽しむウッドデッキ

天井をRにしたことで、奥行きと開放感が生まれたダイニング。床と天井は天竜杉、壁はオリジナルの珪藻土。忙しい日常から離れ、まるで小さな森の中に佇んでいるかのように気持ちが落ち着く。アクセントのぼってりとしたペンダントライトは、森町のガラス作家によるハンドメイド

OWNER'S PROFILE

多趣味な文化人で、穏やかな人柄の中に揺るぎないこだわりを持つご主人と、朗らかで社交的な奥さま。全棟構造計算、本物の自然素材を使い、暮らしの器をつくる「石牧建築」に新築の夢を託した。

BUILDER 石牧建築

女性一級建築士、現場監督、社員大工4名が在籍する設計工務店。全棟長期優良住宅を標準化。構造材だけでなく、キッチン、洗面台、家具まで、自社大工の「手きざみ」加工で作れるのも強み。

BUILDER'S GUIDE P.45 09

スギの床の柔らかな感触と構造用合板の飾り気のない雰囲気が心地よいLDK。大きな窓を介して緩やかにウッドデッキとつながっているので、いつでもすぐに「デッキでご飯」ができるところも夫婦のお気に入り。造作の木のアイランドキッチンは、既製品を入れるか迷った末に取り入れたこだわりのもの。コストダウンのためにあえて収納扉を付けず、布で隠すというアイデアも秀逸。「暮らしを育てる」ことを楽しむ夫妻にぴったりの空間となっている

COZY LIFE 10 ◆ #ミニマルな暮らし #店舗付き住宅 #DIY

ちょうどいい家に、自然体で暮らす

花壇に咲く季節の花に誘われながらアプローチを進み、空色のドアをそっと開ける。こぢんまりとして居心地のいい店内には、コーヒーや食品、リサイクルコットンの靴下など、エシカルな雑貨が並ぶ。街道沿いにある「晴天」は、浜松で一番小さなフェアトレードのお店だ。

ずっと自分の店を持つのが夢だったという奥さまは、新築の家に店舗を併設。もちろんご主人も奥さまの夢に大賛成だった。「親が働いている姿を子どもたちに見せることも大切だと思うから、こうして店を開けて良かったと思いますよ」とご主人。建物には店舗用と住居用に玄関が2つあり、店舗と住居は室内で繋がっている。だから、奥さまは店番をしながら子どものお世話をしたり、家事をこなしたりできる。

新築計画の際には、「気取らずに、いつも自然体でいられる住まいがいい」と希望した夫妻。店舗も住居も、壁の仕上げに構造用合板を使用しているため、「壁にフックや釘をガンガン打ち付けて、どこでも何でも自由に付けたり、飾ったりできます」とご主人。店舗のディスプレイ棚やフックはもちろん、リビングやトイレにもご主人がDIYでオープンラックを設けてある。子ども部屋の壁を彩るのは、子どもたちの絵や工作。学習机の周りには、学校のお便りやスケジュール表をピンで留めたり、取り換えたり。家中の壁が工作ボードのようで、なんだか楽しい。

延床30坪弱の建物内に店舗スペースを確保するため、浴室や洗面は2階に配置。洗面スペースからクローゼットを通ってベランダに洗濯物を干せるようになっているので、洗濯が効率よくできる。「家事をするのも、みんなでくつろぐのも、狭すぎず広すぎず、ちょうどいい空間。だから毎日おおらかな気分で暮らせます」と奥さま。

晴れた日の休日には、テーブルをウッドデッキに運んでブランチを楽しむのが家族の日課。「庭番長」のご主人が植えたオリーブやサクランボの樹を眺めながら日向ぼっこをしていると、キッチンからフェアトレード・コーヒーの芳醇な香りが漂ってくる。ちょうどいい家に自然体で暮らす家族の心は、いつも「晴天」だ。

子ども部屋にはかわいい作品がずらり。何でも自由に飾れる壁は思い出のギャラリーになる

上右.フェアトレード雑貨店「晴天」へのアプローチ。枕木のわきを四季の草花が彩る　**上左.**会計カウンターの奥は住居への出入り口があり、子どもたちがママの様子をのぞきにくる　**中.**見学会で一目惚れした赤色の木製サッシが窓辺を彩る　**下右.**2階のフリースペースは仕切らず、オープンな子ども部屋として活用　**下左.**神棚や掃除機はご主人が壁付けをした

OWNER'S PROFILE

夫妻と仲良し姉妹が暮らすM邸。奥さまの夢だった雑貨店を開く前提で、土地探しと家づくりを計画。新居に引っ越してから1年の準備期間を経て、昨年の4月に「晴天」をオープンした。

BUILDER　入政建築

親子三代にわたり、地域に根ざした丁寧な家づくりに取り組む工務店。住まい手の暮らしについて真摯に向き合い、本物の素材とパッシブソーラーシステムを利用した木の家を提供する。

BUILDER'S GUIDE P.45 10

COZY LIFE 11 ◆ #大きな窓 #庭のある暮らし #上質素材

美しく寛容な家で、幸せをこのままずっと

Sさんの住まいを訪ねたのは、今回が2度目。初訪問のときは、まだ夫妻が2人暮らしをしていて、元サッカー選手だったご主人のサッカー談義や、夫妻共通の趣味の旅行話で盛り上がった。

当時は新居が完成して間もない頃で、「家づくりの際には、地震に強く設計の自由度が高い『SE構法』を採用し、シンプルで洗練されたデザインの住まいを希望しました」との話を伺った。また、「人がいっぱい遊びに来てくれる家がいい」という夫妻の要望に基づき、建物をL字型にしてプライベートガーデンを設け、BBQやガーデンパーティを気兼ねなく楽しめる暮らしが実現。スタイリッシュで開放的な住まいで、自分流の暮らしを謳歌する夫妻の姿が印象的だった。

あれから3年、夫妻の暮らしは一変した。その大きな理由は、1歳になる愛娘の存在だ。「今はこの子が暮らしの中心。ずっと一緒にいたいから、育児休暇を延長してしまいました」と奥さま。ご主人も、「娘が愛おしすぎて、いつもベタベタしています」と、娘さんの小さなほっぺに顔をすり寄せる。

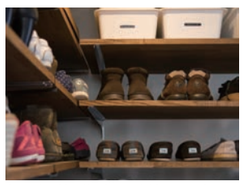
天井高280㎝の開放的なLDKは、家族の暮らしのメインステージ。モルタルの壁で囲んだキッチンは意匠性だけでなく機能性も十分に備わっているため、奥さまの家事の負担を軽減してくれる。

リビングの奥の和室は、ママ友が子ども連れで遊びに来るときにキッズコーナーとして活躍。「今は子どもが小さいので家族の寝室としても使っています。和室があって本当によかった」と奥さま。

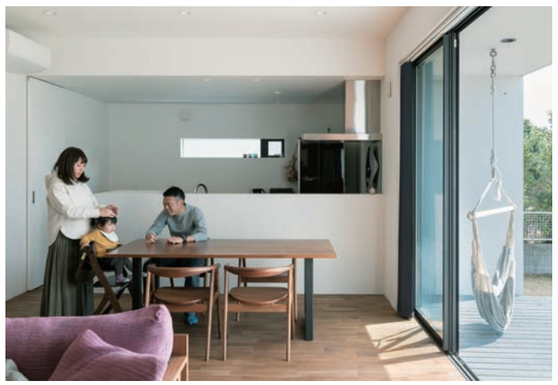
さらに、LDKの大窓が内と外を繋ぎ、親子の遊び場は室内から芝生の庭へと広がる。ボール遊び、シャボン玉、かけっこ…パパとの遊びはバリエーションが豊富なので、娘さんも大喜びだ。

何年経っても価値が変わらぬ意匠性、本物の素材が醸し出す経年美、安心して長く快適に住まうための性能、そして家族の将来を見据えた可変性の高い空間構成。本当に良い住まいとは、家族の変化を寛容に受けとめ、いつまでも変わらぬ心地よさをもたらしてくれるものだと、改めて思い知らされた。

LDKの大きな窓から見えるのは、広い庭で遊ぶ父娘の姿。サッカーボールやシャボン玉をよちよち歩きで追いかける娘と、それを見守るお父さんの姿が微笑ましい。また、ウッドデッキにハンモックを吊るして日向ぼっこをするなど、のんびりと過ごすことが多いそう。家の周囲は豊かな緑に囲まれ、窓を開けると季節ごとにいろいろな鳥や虫の鳴き声が聞こえてくるのだとか



クロークに並ぶサッカースパイク、スニーカー、ベビー靴。家族の活動範囲と比例して増えていく



右.キッチン横の土間スペースは、ご近所さんや仲間同士が集まって晩酌をするコミュニティの場として活躍予定。BBQやキャンプ道具をまとめて収納する倉庫としての役割も兼ねている　中.やわらかな自然光を取り込み、明るすぎず暗すぎないアンニュイな空間が心地よい　左.クルミの無垢の床が温かみを感じさせるLDK。庭先のハンモックは、以前はリビングに吊るして夫妻のうたた寝に利用していたが、今ではテラスに吊るして娘と遊ぶ遊具に。休日には奥さまの姉妹を招いてホームパーティをすることもあり、「LDKが広いので、人を大勢招いても居場所に困りません」と、おもてなし好きの奥さまが嬉しそうに話す

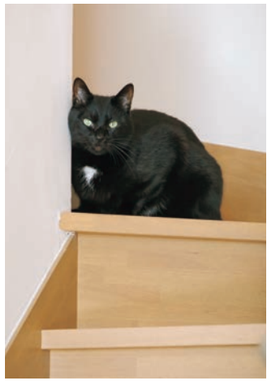
OWNER'S PROFILE

3年前、ご主人の実家の隣にマイホームを新築。夫妻ともに旅行が趣味で、ここ数年は毎年夏に石垣島を旅するのが楽しみ。夫婦共働きで、現在奥さまは育児休暇中。

BUILDER インフィルプラス

構造、断熱、デザインという住まいの3要素を規格外に高め、こだわり抜いた靭く美しい快適空間をオーナーとともに実現。地震に強く自由度の高い「SE構法」の枠を極めた「重量木骨の家」を提供する。

BUILDER'S GUIDE P.45 11



1. ウッドデッキでシャボン玉遊び。「ママを見て！上手に吹けるかな？」とご主人が見守る　2. リビングの小上がりで自動車ごっこ。猫のルナが壁のステップでお昼寝することも。おもちゃで遊んだ後は、引き出しにお片付け　3. 1階のLDKのスペースを広くとるため水回りは2階へ。その日の天候に合わせて室内かベランダ干しかを選択　4. 人見知りの愛猫・ルナは階段の陰からみんなを偵察。ルナも無垢の床の感触がお気に入り　5. 室内とデッキがフラットにつながり、内と外を行き来して元気いっぱいに遊ぶ

小上がりスペースで日向ぼっこをしてほっこり過ごすのが好き。お客様が大勢来た時も、座る場所をたくさん確保できるので便利

COZY LIFE 12 ◆ #漆喰の壁　#ナラの無垢床　#猫と暮らす

2,200万円で実現するオール漆喰の自然派生活

市街地にありながら豊かな緑に恵まれたH邸。森に集う野鳥やリスも身近な存在になった

窓を開けると、レースのカーテンがフワっと広がって、そよ風が季節の香りを家の中まで運んでくる。隣の森から聞こえてくるのは、「ゲコゲコ」と奇妙な鳴き声。「あれはリスの鳴き声なんです。姿形はかわいらしいのに、意外でしょ」とほほえむ奥さま。キッチンから庭で遊ぶ息子さんとご主人に目をやりながら、夕食の下ごしらえに手をかける。

緑ゆたかな森を一望できる高台に建つHさんの新居。「特に意識していたわけではありませんが、住んでみたら、周辺は緑に囲まれている環境で、住まいも漆喰と無垢を使った自然素材の家を選んでいました。どこかで無意識に自然とふれあう暮らしを望んでいたのかもしれませんね」とご主人が穏やかに語る。その言葉の通り、外壁、内壁、天井、さらにはクローゼットの中まで漆喰が施され、家中どこにいても空気が澄んだ森の中のような心地よさ。

夫婦は目下のところ2歳の息子さん中心。好奇心旺盛で、朝から家中を動き回って元気いっぱい。2階に上がってママの洗濯のお手伝いをしたいとせがんだり、リビングの小上がりでおもちゃ遊びをしたり。お天気がいい日にはウッドデッキに出て、家族みんなで青空ブランチを楽しむことも。

実は家族がもう1匹、マイペースな愛猫のルナ。階段の上から3人の行動を監視していたかと思えば、ナラの床の陽だまりで毛づくろいをしながら、気持ちよさそうに日向ぼっこ。「この家に引っ越して以来、毎日がのどかな雰囲気です。体中がやさしい素材に包まれて、気持ちまでやさしくなれます」と奥さま。

昼下がり、窓際の日向ぼっこ用の小上がりに腰掛けて庭を眺めていると、名も知れぬ野鳥が芝生の庭に降り立って遊び始めた。息子さんはパパに寄り添い、息をひそめて鳥たちを観察。そのうちウトウトおねむになって、小上がりでお昼寝タイム。いつのまにかルナもそばにくっついてスヤスヤ。

頬を紅潮させて眠るお子さんを見つめながら、「自然とふれあう暮らしの中で、おおらかな心とゆたかな感性をはぐくんでもらえたら」と夫妻が目を細めた。

OWNER'S PROFILE

奥さまがマンション育ちなので一軒家に憧れていたため、ご主人がそれを叶えてあげたくて新築を決意。夫妻ともにマラソンが趣味で、入居後も子育ての合間を縫って近くの佐鳴湖に走りに行くのが日課。

BUILDER コバケンホーム

全棟全室に漆喰と無垢材を用いた自然素材と高性能の注文住宅を手掛ける。2,200万円（税別）と価格が明瞭で、間取り・デザインも自由に選べる「Blanche」が子育て世代に大人気。

BUILDER'S GUiDE P.45 12

カウンタースタイルのダイニングに、大きな開口が広さと明るさを運ぶ。床と天井に段差をつけ、素材を変えることで、穏やかな個室感を演出

上.無垢オークの床、漆喰の壁、シダーの天井に包まれ、ぬくもりと落ち着きが共存するリビングスペース。テレビ背後には玄関やホールと同じタイルが貼られ、統一感がもたらされている　**中右.**段差、素材、カラーで役割を分けつつ、外部もうまく取り込んで、立体感を感じさせる空間に。右手押し入れの足元には間接照明。夜の居心地も大切にした　**中左.**デッキと庭に面して、低い位置に窓が設けられている。車が停まると、すてきちゃんが様子を見にやってくる　**下右.**昔から洋服やバッグをつくるのが好きだったという奥さま。友だちに依頼されることも多いそう　**下左.**通りからの目を気にせず、デッキや庭でゆったり過ごせる。芝生が落ち着いたら、仲間のワンちゃんも呼ぶ予定

どこにいてもひとつになる、“すてき”ライフ

周囲に広がるのどかな田園風景。小川沿いの道に吹き渡る風が心地良い。「この子のために、この場所を選んだんです」と、愛犬・すてきちゃんとの散歩から帰ったご主人がにこやかに迎えてくれた。庭には芝生のドッグラン。デッキに腰掛けて走り回る姿を眺めたり、お気に入りのおもちゃで遊んだり。すてきちゃんと一緒に過ごす時間が家族みんなの気持ちをゆるめ、つながりを育む。家の中にも“すてきちゃんとの暮らし”を豊かで快適なものにする工夫が満載。広いシューズクロークにはアウトドア用品に加え、たっぷりのワンちゃんグッズ。LDK入口に用意されたドッグスペースの近くには、「お世話のあとも帰宅後もすぐに手を洗えるように」と手洗い場を。壁の低い位置に設けられた窓もすてきちゃん用。家族の帰宅に気づき、嬉しそうにのぞく姿が愛らしい。

K邸で目を見張るのは、そんな“すてきちゃん愛”が、洗練された空間に違和感なく溶け込んでいること。それもそのはず、ご主人は「愛犬家住宅コーディネーター」の資格をもつ、現場監督さん。しかも手がけてきたお宅は実に300棟以上という。この家には、これまでに培ってきた知識と経験のすべてが注ぎ込まれているのだろうとたずねると、「いやいや、ほしいものを全部入れようとして、途中でどうしたらいいのかわからなくなって、1回リセット。本当に必要なもの、大切なものだけを選び直したんです」と笑うご主人。だが、オープンながら個室感も感じられるLDKの居心地の良さ、2階のみで洗濯を完結させる構成と動線、さらにはトイレの意外な収納、和室の隠し照明、テレビ周辺機器のおさまりなど、細部に至るまで“プロの引き出し”の多さを実感させる仕上がりだ。

希望していたロフトも叶い、子どもたちも大満足。奥さまには家事室を兼ねたパントリーと趣味のミシン部屋ができた。一番多くの時間を過ごすキッチンはLDKの中心に配され、正面には開放的な眺め。「みんなを見渡せるから、ほっとするんです」と笑顔の奥さま。子どもたちとすてきちゃんを中心につながるKさん家族の絆は、これからもこの家で一層強く結ばれていくことだろう。

家の外でもすてきちゃんが迎えてくれる。やさしい光で夜の帰宅もあたたかな気持ちに

OWNER'S PROFILE

40代のご主人、30代の奥さま、高3、中2の息子さん、フレンチブルドッグのすてきちゃんの5人（？）暮らし。ご主人は「納得住宅工房」の社員で、経験豊富な現場監督。本社から浜松店に移り8年目。

BUILDER 納得住宅工房

デザイン性が注目されるが、支持を集める真の理由は施主さんの「納得」を追求する姿勢。耐震性に優れる構造や自然素材は大前提。建材や家具を自社開発し、「予算内で理想以上の家」を実現する。

BUILDER'S GUiDE P.45 13

2 3 1 4 6 5 1. 犬も家族の大切な一員。グリーンと同じように安らぎを与えてくれる　2. 中庭の木や植物はすべてご主人が盛り土をし、植えて、育てている。背の高いシンボルツリーはオリーブ。ここでお酒やコーヒーを飲んだり、音楽を聴いてリラックスしている。外からは見えないので、プライバシーを確保しつつ、家族やゲストとBBQも楽しめる　3. ちょっとしたアクセントも配置を意識　4. 子ども部屋にもグリーンを飾って。物掛けにもなる　5. 朝、日の光をあびて中庭を望みながら気持ちよく目覚める　6.「おはよう」とわんちゃんが寝室に起こしに来ることも

自慢の料理を振るまえるオープンキッチン。家族と会話を楽しみながら料理できて、アツアツの料理をサッと渡せるのが嬉しい

COZY LIFE 14 ◆ #グリーン #中庭 #ペットと暮らす

グリーンと愛犬に癒やされながら過ごす時間

愛車をしまう大きなガレージが特徴の外観。奥が中庭でプライベートな空間を確保した

Tさんの家はいつも賑やかで、家族以外の誰かがいることも多い。夫婦の友人家族がバーベキューをしに来たり、3人の子どもたちそれぞれの友だちが毎日のように遊びにやってくるのだ。こんな風に、たくさんの人が集まる機会が多く、家族みんながおもてなし好きなこともあって、33畳もの大空間リビングをつくった。

そんなゆったりとくつろげる空間をより豊かに演出するのがグリーンだ。「庭の中で暮らすような家に住めたらいいな」と、ガーデニング好きなご主人と奥さまの理想は、庭と一体化する家で暮らすことだった。3年前に建てた住まいは、家中どの部屋からも中庭が見えるようになっていて、シンボルツリーのオリーブを中心に、木や多肉植物をご主人が植え、大切に育てている。休みの日は朝から庭いじりをしながら音楽を聴いたり、コーヒーを飲んだり、自分だけのリラックスタイムを楽しむ。週に一度は奥さまと一緒にガーデニングショップや緑花木センターに足を運び、両腕に抱えきれないほど買ってくるという。「このままだと、家がジャングル化するんじゃないかと心配で。でも、それも楽しいかな（笑）」。

リビングやキッチン、寝室や和室、子ども部屋など、室内の至るところに飾られたグリーンは、見た目にも優しくて心が癒やされる。夫婦もお子さんもとても穏やかで、部屋の案内やこだわり、マイブームをすてきな笑顔で話してくれた。

2匹の犬の存在も大きな癒やしになっている。餌や散歩などのお世話をするのはもっぱら次女で、おかげで3兄妹の中でも特にやさしい子に育った。「グリーンも犬も子どもたちも、そして家もそうだと思いますが、成長を見るのが楽しみなんですよ」とご主人。「ほら、また理屈っぽいことを言い出して」と隣で奥さまが笑う。

自分から一生懸命に愛情を注げば、それだけ応えてくれる。確かにそれは、植物もペットも人も、そして家も同じなのかもしれない。だから、Tさんの家は新築して3年経っても色褪せるどころかますます輝きを増し、子どもたちも両親の愛情をたっぷりと受けて、こんなにも素直にすくすくと成長しているのだろう。

OWNER'S PROFILE

ご主人と奥さまは結婚して17年。高1、中2、小6の3人の子どもたちは素直でとってもフレンドリー。人を喜ばせることが大好きな家族で、いつも顔ぶれの違う友だちが家にやってくる。

BUILDER 寿建設

創業40年。木造以外に重量鉄骨や鉄筋コンクリート造にも柔軟に対応。住宅だけでなく、店舗やオフィスも土地探しから設計、施工までトータルに任せて安心できる工務店。

BUILDER'S GUIDE P.45 14

COZY LIFE 15 ◆ #子ども服 #ハンドメイド #自然素材

暮らしの中のかわいい、見つけた

まぶしい太陽と、ふわふわの柔らかい空気。天気のいい午前中は窓をいっぱいに開け放って、大ぶりなシーツをざぶざぶと洗う。青空にはためく一点の曇りもない白。陽に透けてそのまま溶けてしまいそうなはかなさが、少しずつ乾いていくに連れて、風合いのあるしなやかさへと変わる。そんな様子をただのんびりと眺めている時間が奥さまは好きだという。

奥さまは「coco Cherie（ココシェリー）」というやさしくて繊細なベビー服・子ども服ブランドを立ち上げ、多くのファンを獲得している。「愛しい我が子につけてあげたくなるようなグッズを届けられるように。身につけてくれたベビーとママの笑顔が少しでも増えますように…。そんな気持ちで一針一針縫っています」。

実はほんの少し前まで、奥さまは普通の主婦だった。手づくりが大好きで、2人の子どもの洋服を作ったり、毎日使う自分のバッグやハンカチを縫ったり。「それ、素敵ね」。そんなママ友たちの声に後押しされて、少しずつ作品をインターネットで販売するようになったそう。「だから、専用の作業部屋なんてありません。2階の片隅に机を並べて、そこにミシンを置いたら小さなアトリエになりました」と微笑む。

自然素材にこだわる夫婦の想いがぎゅっと凝縮されたリビングは、甘すぎない大人かわいいテイストにコーディネート。壁やニッチを彩るのは、眺めているだけで満ち足りた気持ちになれて、手に触れるたびに愛しくなるような雑貨やグリーンたち。暮らしを支える小さな道具も、長く付き合いたいものばかりを揃えた。そんな心地いい空間に、上質な時間がゆるやかに流れていく。

ダイニングキッチンは造作のカウンターとシンプルな照明を組み合わせ、おだやかな空間を演出。また、器選びにも奥さまならではのこだわりが。「キッチンの食器は“使わないとき”のことを考えて選びます。しまう場所にどんな風に置いてあったらかわいいかなぁ？って想像して」。料理したり食卓を囲むときなど、毎日の中にある「あたりまえの時間」をもっと豊かに過ごすために。そんなていねいな暮らしを、飾る楽しみが支えているようだ。

無垢の木や漆喰の塗り壁など、素材感を大切にする暮らしに憧れていたUさん夫妻。奥さまがハンドメイドでつくるリネンやコットンの子ども服も、『アイジースタイルハウス』で建てた自然素材の家も、使い込むほどに馴染み、風合いを増していく。太陽の光が燦々と降り注ぐ、空気のきれいな空間に包まれて、子どもたちは健やかにすくすくと育っていく

リネンの手ざわりには素朴な真面目さがあり、手をすべらせると、しみじみとした幸福を感じる

右.木のカウンターキッチンも夫婦のお気に入り。休日の朝はご主人が得意のフレンチトーストを作ってくれる

中.無垢の床に少々のキズがついても気にしない。それも子どもたちの成長した証、家族の思い出となっていくのだから

左.家具や照明器具は、色、形、素材まで『アイジー』のコーディネーターからの提案

OWNER'S PROFILE

やさしい笑顔が素敵なご主人とハンドメイド好きな奥さま。結露がひどかった鉄骨造のアパートから脱出したくて、自然素材の家を得意とする工務店をネットで探し、『アイジースタイルハウス』にたどり着いた。

BUILDER アイジースタイルハウス

家族が健康に暮らせて、長持ちする家を目指し、健康に害を与えるとされる素材や、住宅寿命を短くする可能性のある建材を一切排除した、自然素材100%の家づくりを追求している。

BUILDER'S GUIDE P.45 15

COZY LIFE 16 ◆ #大屋根の家 #土間 #薪ストーブ

どの瞬間も、「みんなが一緒」が心地いい

休日の朝8時、奥さまと子どもたちが目を覚ますと、ご主人はベッドにいない。「問題です。父ちゃんはどこに行ったのでしょうか？」そんな奥さまのクイズに、きょうだいは真剣に頭を悩ませる。「わかった、今日は釣りだ！」。子どもたちのカンは鋭くて、なぜかいつも正解するのが面白い。

Kさんが長年親しんできた趣味は、スノーボード、スケートボード、サーフィン、釣り、そして新築をきっかけに始めたDIYと、薪ストーブの手入れ。休日の早朝は季節や天気で行き先を選び、ある日は釣りへ、ある日はスケボーパークへ。朝食前に帰宅して、家族みんなで食事をするのが日課だ。釣りの成果があれば「すぐにさばいて、家族に披露します」とKさん。道具も技法も極める彼が、家づくりに全力を注いだのは新居を見ればわかる。アウトドア用品や丸ノコをそのまま置ける広い玄関は、リビングと一体化した土間に繋がり、薪ストーブが炎を揺らめかせる。

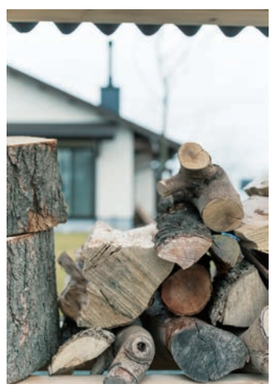
「家に求めたのは、いつもみんなの息づかいを感じられること」と奥さま。ご主人が土間で作業をする間、子どもたちはリビングや和室でカードゲームをしたり、けん玉を練習したり、お絵かきをしたり。2人が喧嘩を始めると、ご主人が手を止めて仲裁に入り、いつの間にか笑い声がリビングに響く。そして再び気がつけば、Kさんは薪ストーブの様子を見ている。この空気感は、吹き抜けを通して2階のフリースペースまで巻き込み、全体を一つの空間に仕立てる。いつも近くに家族の気配があるのが心地いい。

笑い声が止んだと思ったら、みんなでお昼ご飯の準備を始めていた。テーブルはきれいに片付き、子どもたちが手伝う姿も微笑ましい。すぐに部屋が整う秘訣は、キッチン収納やファミリークローゼットなどの計画収納で、これは奥さまの努力の賜物だそう。部屋の中は広く、サッカーでも卓球でも思いのままに楽しめる。「この家で暮らし始めてから、子どもたちが穏やかになりました。ゆとりがあるし、炎の癒し効果のおかげかな」そう奥さまは笑う。

1日の終わりには、ストーブを囲んでアイスクリームを食べる。これ以上幸せな場面は、なかなかお目にかかれない。

土間とリビングを分ける緩やかなカーブや、勾配天井、吹き抜け、窓越しの庭まで一つの空間として繋がる。「設計士さんからアドバイスされたのがきっかけ」で薪ストーブを導入した。その世話がご主人の趣味になり、家族団らん中も時折火の様子を見に席を立つのは日常風景。家族で暖かな暮らしを堪能している

土間にキャンプ用チェアを置いて、炎を見ながらアイスクリーム。いつもはお風呂後の恒例



右.2019年の半ばに入居し、ご主人が初めて挑戦したDIY作品は薪棚。次はスケボー用ミニランプ（だ円を半分に切ったような練習台）を製作予定で、庭キャンプをするのも夢だ　中.ご主人が早朝の釣りを終え、帰宅するとまずウェットスーツを乾かす。「マンション時代はこの作業が大変でした」とKさん。玄関前には枕木やレンガのアプローチがあり、家族で植えた花がかわいらしく咲く　左.ゆとりあるキッチンは、親子で並んで作業ができる十分な広さ。キッチン前の造作収納にはランドセルや教科書、日用品が収まり、LDKを広く見せてくれる

OWNER'S PROFILE

今までの住まいはマンションの20階で、アウトドア活動後の収納が大変。そこで新築を希望したものの、ハウスメーカーはどれも同じに見えたそう。人生の設計図を描き、工務店選びに1年以上を費やした。

BUILDER Casa（カーサ）

塗り壁の外壁、無垢材の床、木質繊維断熱材など、自然素材を使って「家族にちょうどいい」家づくりを行う。メンテナンスしやすく、傷さえ味わいに変わる住まいは、暮らすほどに愛着が増していく。

BUILDER'S GUIDE P.46 16

COZY LIFE 17 ◆ #薪ストーブのある暮らし #DIY #おうちじかん

自然のままに、おおらかに暮らす

取材当日は朝から雨。あいにくの天気だと思っていたけれど、Y邸を訪ねたらそんな心配も杞憂だった。リビングに招かれると薪ストーブがたかれ、家の中は春のようにぽかぽか。窓の向こうには煙のような雲が山にかかり、自然の美しさに見とれてしまう。「この家は軒が深いから、雨の日でもウッドデッキや2階のベランダで遊べるんですよ。雨の日には雨の日の楽しみ方があります」とご主人。

高校の同級生という夫妻は、家に人を招くのが好き。家を建てることになり、アウトドアが好きなご主人は家族や友だちとBBQができる広い庭を希望し、天竜区の中心部にほど近い、見晴らしのよい土地と出会った。奥さまのすすめもあってログハウスを見学したところ、一目ぼれ。住み始めての1年間は毎週のように友だちがお祝いにかけつけ、庭やベランダでBBQを楽しんだそう。友人の訪問もひと段落し、やっと家のことができると笑うご主人が今はまっているのがDIY。奥さまの依頼を受け、食器棚や収納棚などを製作。薪棚もご主人の手によるものだ。

「憧れの薪ストーブを手に入れたはいいけど、薪の工面は当てがない。そんな時、会社に同じ薪ストーブを使う人がいて意気投合。誰それの家で木を切ったという情報を聞けば、チェーンソーを持ってみんなと出かけ、木を玉切りにして持ち帰る。薪ストーブのある暮らしをきっかけに、これまで出会わなかった人たちと知り合えたのがうれしい」と、暮らしを楽しむ仲間ができたことを喜ぶ。

今まで街中のアパートで暮らしていた子どもたちは、朝起きると、はだしのまま庭に飛び出して遊ぶそう。「朝の支度はしないし、リビングは砂だらけになるし、困っちゃいます」と言いながらも、どこかうれしそうな奥さま。この春から長女は小学校へ。子育てもほんの少しだけ余裕ができたから、子どもの洋服や刺しゅうなど、ものづくりを始めるのだとか。「少しずつ家をいじっていって、暮らしとなじんでいくのが楽しいし、終わりのない遊びのようです。いずれ小屋を建てようと思っていて」と夢を語るご主人。数年後、Y邸はどんな暮らしをしているのか楽しみでならない。

上.近くにはスーパーやホームセンター、高速道路のICもあり、生活するのに便利な"山のふもと暮らし"を楽しんでいる　中.ダッチウエスト社製の薪ストーブを朝と夕方に4時間ほどつければ、吹き抜けを通じて家中あたたか　下.ご主人がDIYした棚に、お気に入りの食器やマグカップが並ぶ

長女のランドセルは、使うたびに味わいが増していく本革製。手入れをするのはもちろんご主人

1階と吹き抜けでつながる2階フリースペースは、天竜の山々を望む特等席。平日は仕事で夜遅くの帰宅になるYさんを独占して、遊びに夢中になるパパっ子の長女。いずれ壁の一面に有孔ボードを貼って子どもたちの絵を飾ったり、プロジェクターを置いてのんびり映画鑑賞をしたりと、したいことがいっぱい。木の質感を残し白く塗装した天井を、梁に設えた間接照明が優しく照らす。家の照明計画は、照明デザイナーの奥さまによるもの

OWNER'S PROFILE

車の設計に携わるご主人と、照明デザイナーの奥さま。薪ストーブのある暮らしに憧れ、街中から山のふもとに引っ越しした。この家に住み始めてから外出は減り、家遊びが得意になったとか。

BUILDER BESS浜松

自然材ならではの木のぬくもりに包まれ、思わず深呼吸したくなる木の家が人気。ログハウスをはじめ、土間がある家や遊べる家など、自分たちらしく暮らしを楽しめる、遊び心あふれる住まいを提案。

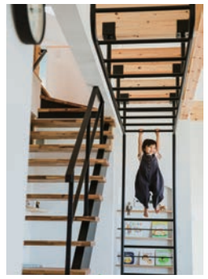
BUILDER'S GUIDE P.46 17

BUILDER's GUiDE 01

ワンズホーム

建築家とつくる、暮らしやすいデザイン住宅

☎050-5871-8743（イエタテ専用ダイヤル）
住 浜松市浜北区中条466
施工エリア 浜松、磐田



施工例は…» P.10

BUILDER's GUiDE 02

桂建設

日々を愉しむ家をつくる

☎050-5268-8264（イエタテ専用ダイヤル）
住 浜松市東区天王町1930 施工エリア 湖西～掛川

施工例は…» P.12

BUILDER's GUiDE 03

casa carina浜北

かわいくて賢い「カーサカリーナ」の暮らしを実現

☎050-5851-0608（イエタテ専用ダイヤル）
住 浜松市浜北区於呂1634
施工エリア 豊川～袋井

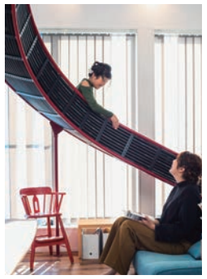
施工例は…» P.14

BUILDER's GUiDE 04

tonokEn

「こだわり」と「遊び心」を追求した楽しい家づくり

☎050-5268-8239（イエタテ専用ダイヤル）
住 浜松市浜北区新原2576-2
施工エリア 豊橋～静岡



施工例は…» P.16

BUILDER's GUiDE 05

桧の住まい 磯建（磯部建設）

天然乾燥のヒノキの家を安心・明朗価格で提供

✆090-5038-1219
住 浜松市南区楊子町446-3
施工エリア 湖西、浜松、磐田、袋井

施工例は…» P.18

BUILDER's GUiDE 06

朝日住宅

寄り添う提案と、安心して暮らせる性能が嬉しい

☎050-5851-0514（イエタテ専用ダイヤル）
住 浜松市東区笠井町982-1、磐田市今之浦4-6-8
施工エリア 湖西～島田（静岡県西部エリア全域）

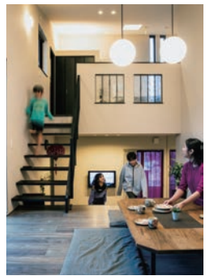
施工例は…» P.20

BUILDER's GUiDE 07

MABUCHI

3,000人から選べる建築家の専門店

☎050-5871-8766（イエタテ専用ダイヤル）
住 浜松市北区三方原町626-3
施工エリア 湖西～静岡



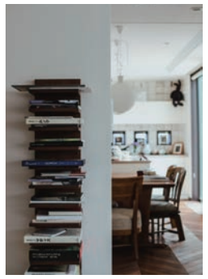
施工例は…» P.22

BUILDER's GUiDE 08

デザインハウス

「世界にたった一軒のあなただけの家」を提供

☎050-5268-8247（イエタテ専用ダイヤル）
住 浜松市南区青屋町400 SBSマイホームセンター浜松展示場内 施工エリア 名古屋～静岡



施工例は…» P.24

BUILDER's GUiDE 09

石牧建築

本物素材で「まっとうな家」を建てる設計工務店

☎050-5851-0542（イエタテ専用ダイヤル）
住 浜松市中区北寺島町214-23（SPACE SEVEN）
施工エリア 湖西～掛川

施工例は…» P.26

BUILDER's GUiDE 10

入政建築

本物の材料を使って丁寧に作る木の住まい

☎050-5268-8267（イエタテ専用ダイヤル）
住 浜松市西区大久保町6628-1
施工エリア 湖西～袋井

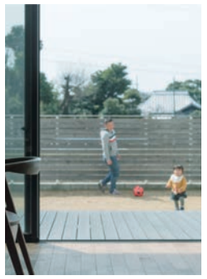
施工例は…» P.28

BUILDER's GUiDE 11

インフィルプラス

共感してくれるのは、オーナーだけでいい

☎050-5851-0544（イエタテ専用ダイヤル）
住 浜松市西区志都呂2-41-3
施工エリア 名古屋以東、静岡県全域



施工例は…» P.30

BUILDER's GUiDE 12

コバケンホーム

オール漆喰と無垢材でつくる自然素材の子育て住宅

✉0120-78-2018
住 浜松市北区都田町1637
施工エリア 豊川～掛川

施工例は…» P.32

BUILDER's GUiDE 13

納得住宅工房

デザインするのは心地よさ、「納得」を未来まで

☎050-5851-0418（イエタテ専用ダイヤル）
住 浜松市中区上島6-2-31（浜松店） 掛川市南1-5-4（掛川店） 施工エリア 静岡県全域

施工例は…» P.34

BUILDER's GUiDE 14

寿建設

住宅、店舗、オフィスまで完全自由設計＆自社施工

☎050-5851-0489（イエタテ専用ダイヤル）
住 浜松市南区米津町54-4
施工エリア 豊橋～静岡

施工例は…» P.36

BUILDER's GUiDE 15

アイジースタイルハウス

地球が生み出したものだけ

✉0120-880-250
住 磐田市森下270-2/磐田スタジオ
施工エリア 静岡県西部、愛知県全域

施工例は…» P.38

見本

QRコードを読み込むと、
施工会社の詳細情報を
見ることができます。

家を建てるなら
イエタテ

WEB
イエタテ
最新情報をリアルタイムで発信
見学会・イベント予約もココから

調べる
&
予約

フリーマガジン
イエタテ
気軽に手に取れる住宅情報
家づくりの第一歩

トレンドを
知る

家を建てるときに読む本
実例＋会社データで比較
地元の住宅会社ガイド

じっくり
比較

イエタテ
相談カウンター
要望にあった住宅会社を紹介
専任アドバイザーに相談できる

直接
相談する

わたしの住まい
みんなの暮らし
自分らしい住まいをイメージする
暮らしの実例メディア

暮らしを
みる

BUILDER's GUiDE 17
BESS浜松
自然のままに、おおらかに暮らす
☎050-5851-0635（イエタテ専用ダイヤル）
住 浜松市西区志都呂1-22-19
施工エリア 愛知県三河、静岡県全域

施工例は…» P.42

BUILDER's GUiDE 16
Casa
自然素材を身近に感じるあたたかな暮らしづくりを
☎050-5851-0478（イエタテ専用ダイヤル）
住 浜松市西区大久保町6963
施工エリア 東三河、湖西～島田

施工例は…» P.40

50音順#（ハッシュタグ）INDEX

あ
#Rの天井 …… 26
#愛犬との豊かな暮らし …… 34
#おうちじかん …… 42
#大きな窓 …… 30
#大屋根の家 …… 40
か
#家事室とミシン部屋 …… 34
#カフェスタイル …… 14・16
#ガレージ …… 22
#かわいい家 …… 14
#木の大テーブル …… 18
#クラシックモダン …… 24
#クラフト …… 26
#グリーン …… 36
#建築家と建てる家 …… 10
#建築家の家 …… 22
#現場監督の家 …… 34
#子どもと暮らす …… 10
#子ども服 …… 38
#コンパクト …… 26
さ
#自然素材 …… 38
#自然との一体感 …… 18
#漆喰の壁 …… 32
#室内うんてい …… 10
#ジャングルリビング …… 16
#趣味の空間 …… 18
#上質素材 …… 30
#スキップフロア …… 22
#ステンドグラス …… 24
#滑り台 …… 16
た
#DIY …… 20・28・42
#店舗付き住宅 …… 28
#土間 …… 40
な
#中庭 …… 36
#ナラの無垢床 …… 32
#庭のある暮らし …… 30
#猫と暮らす …… 32
は
#パッシブデザイン …… 12
#ハンドメイド …… 38
#平屋 …… 24
#吹抜けの土間 …… 12
#プロヴァンス …… 14
#ペットと暮らす …… 36
#北欧スタイル …… 20
ま
#薪ストーブ …… 12・40
#薪ストーブのある暮らし …… 42
#ミニマルな暮らし …… 28
や
#やっぱり家が好き …… 20

イエタテ 相談カウンター

あなたにピッタリの住宅会社を紹介します

イエタテ相談カウンターは、静岡県の住宅会社掲載社数No.1※1のイエタテが運営する、
対面式無料相談＆紹介サービスです。静岡県で家を建てたい、または家を買いたいと考えている方が、
希望に合ったベストパートナーを見つけるためのサポートをしています。
本誌「わたしの住まい みんなの暮らし」で紹介しているような素敵な家を建てる地元の工務店を中心に、
100社以上の詳細な住宅会社の情報から、あなたの希望にあった住宅会社を厳選してご紹介※2します。

※1 2020年3月時点自社調べ　※2 紹介対象の住宅会社は、イエタテ相談カウンターに登録している会社となります

03 多くの参画会社から中立的に紹介してもらえる

02 地元の住宅会社、工務店に詳しい

01 紹介先との面談や訪問日程の調整をお任せできる

05 困った時は気軽に相談！断りの代行もしてもらえる

04 相談や紹介は何度でも無料

イエタテ相談カウンター利用（ご相談・ご紹介）の流れ　利用はすべて無料

1 予約

まずはwebまたは電話で来店予約。
希望日時をお伝えください。

2 来店

家づくりの要望をヒアリング。
専属アドバイザーがサポートします。

3 会社紹介＆面談設定

複数の参画会社の中から
要望にぴったりの会社を3社ほどご紹介。

4 比較検討

紹介先のモデルハウスや完成宅を見学。
決定まで何度でも相談できます。

5 会社決定＆家づくりスタート

紹介先を比較検討後、家づくりのパートナーを決定、家づくりが始まります。
希望に合わなかった会社には、カウンタースタッフからお断りの連絡を代行します。

LINE 公式アカウント 友だち募集中!!

家づくりのお役立ち情報や豆知識をGETしよう

イエタテ相談カウンターが開催するセミナーやイベント情報をお届け♪
「こんな相談もできる？」など素朴な疑問をLINEで聞ける。アドバイザーが個別に返信。その後、個別相談の予約もLINEでできる！

こちらから

あなたにピッタリの住宅会社をご紹介

イエタテ相談カウンター 浜松店

053-525-7676

所 浜松市中区中央3-1-33 フォーレ三和 II 1F
P 店舗前に2台有り
営 10:00～18:00　休 休日はHPを参照

詳しくはHPをチェック！ イエタテ相談

県内3店舗にてご相談受付中！

アピタ静岡店
054-291-6241

三島店
055-928-5520

どんな流れで家ができるの？

家づくりの5ステップ

家づくりは、一生のうちに何度もあることではないので、わからないことだらけ。家の工法はもちろん、デザイン、床材はどうするのか、カーテンはどうしたらいいのか。そもそも、住宅用語も初めて聞く言葉ばかり、予算もどうやって工面したらいいのか、建てる土地にはどんな制約があるのか、などなど。

考え出すときりがありませんが、大きなステップとして下の5段階をおさえながら進めていくと、スムーズな家づくりができるはずです。それぞれのステップごとに、住宅を検討するためのいろいろなサービスがあるので、それらをうまく活用し、不安を解消しながら楽しく家づくりを進めていきましょう。

5 ついに契約・着工です

プランや資金計画などがおおよそ固まったところで、工事請負契約を結び、着工へと進みます。その後地鎮祭が行われ、基礎ができ、少しずつ形になっていきます。建築中は現場に出向いて進捗状況を確認しましょう。

4 いよいよ、プランの打ち合わせです

自分たちの思いに応えてくれそうな会社が見つかったら、間取りなどのプランを依頼しましょう。ここでおおよその予算が決まってくるので、銀行に融資の相談をするなど、具体的な資金計画も考えます。

POINT

豊富で最新の住宅イベント情報を探すなら【WEBイエタテ】が便利です。

各会社ごと、週末を中心に、現場見学会やイベントが開催されています。そんな情報をひとまとめで見られるのが【WEBイエタテ】のイベントページ。会員登録すれば、おすすめのイベントをメールでも教えてくれます。

3 現場見学会やモデルハウスを見学してみましょう

気になる住宅会社をある程度絞ったら、実際にその会社が手掛けた現場を見に行ったり、展示場を見学してみましょう。実際の建物を間近に見て、直接担当者の方に質問することで、より理解が深まります。

2 気になる住宅会社を比較検討しましょう

自分たちの理想の家のイメージが固まりだしたら、そのイメージに近い家づくりをしている住宅会社をいくつかピックアップして、比較検討してみましょう。どんな会社なのかを知ることは、とても重要です。

POINT

住宅会社を比較検討するには【家を建てるときに読む本】がお役立ち。

住宅会社やスタッフの考え方、こだわりのポイント、人柄を知ることができる「家を建てるときに読む本」。県内主要書店で販売中。

1 いろいろな情報を見て、イメージをふくらませましょう！

近所の気になる家を見たり、インテリア雑誌や住まいの参考になるフリーマガジンなどから、家族みんなのイメージを膨らませ、作りたい家のイメージを共有してみましょう。

POINT

そろそろ家を建てたい、【フリーマガジン イエタテ】がその気持ちにお応えします。

【フリーマガジン イエタテ】は、本誌『わたしの住まい みんなの暮らし』よりも、さらに具体的に住まいを検討しようと思った時に役立つ施工実例が充実しています。

暮らしを楽しむ Tip

灯りと上手につきあう

灯りを効果的に取り入れて、お部屋の印象をアップしてみませんか。
気軽にできて自分らしい空間になる照明のコツを、
浜松市・『RUNTAN』の堀内さんに教えてもらいました。

照明雑貨　RUNTAN

ジャンルも雰囲気も様々な、デザイン性の高い照明に出会えるショップ&ショールーム。
☎053-401-7691
HP https://runtan.info　住 浜松市南区福島町252-3
休 日曜　開 9:00～18:00　※訪問時は要予約

部屋に入った時の第一印象、「何かカッコイイ」「なんとなくステキ」は、実は灯りが関係していることが多いんです。灯りは部屋の居心地や気分まで変えてくれるインテリアの大切な要素。灯りをほんの少し工夫するだけで、理想のイメージの部屋にできるんですよ。

おしゃれに見えない理由は灯りだった？

賃貸住宅の灯りといえば、天井中央に直接取りつけた丸い「シーリングライト」が多いのではないでしょうか。シーリングライトはひとつの灯りで部屋全体をふんわり明るくしてくれる、とても使い勝手のいい照明。ですがよく見かけるタイプなので平凡な印象になってしまい、おしゃれな部屋にするにはどうしたらいいか分からない、という方もいるかもしれません。

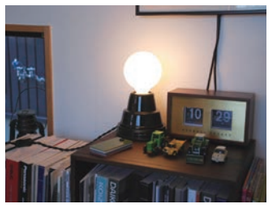
そんなときは「小さな照明をひとつ、プラスしてみる」ことで、空間にメリハリと奥行きが生まれ、簡単に部屋の雰囲気を変えられます。とくに取り入れやすいのが小型の「スタンドライト（置き型照明）」。カジュアルに床置きしたり、シェルフの上に載せてみたり。視線の集まるテレビ周りやソファ横に小さなスツールを用意して、その上に置くのもいいですね。お気に入りのディスプレイスペースがあれば、飾られている雑貨に溶け込ませるようにレイアウトすれば難しくありません。アートやインテリアショップとコーディネートすれば上級者の印象です。

小さな灯りをいくつか足してみるだけで

プラスする灯りは複数を分散させても雰囲気が出ます。ソファ横に「フロアライト（足付き照明）」を置けば空間のアクセントになるうえ、読書の灯りにもぴったり。クリップタイプの「ブラケットライト（壁付け照明）」はちょっとした壁のでっぱりを利用して固定できるスグレモノ。光の角度を調整しつつ、手軽に移動できるのでお気に入りの雑貨を照らしてみたり、キッチンの手元灯にも使えます。

このように今ある天井照明を活かして点在させることで、リラックスしたくつろぎのある雰囲気が作れます。

好きなスタイルを灯りでも取り入れて



ではさっそく新しい照明を買ってみよう、となったとき、知っておきたいポイントが3つあります。

1つ目は、灯りを置く場所を想定しておくこと。どこに配置すればより理想のイメージに近づくのか、部屋の模様替えの要領で考えてみましょう。一般的に部屋のコーナー部分に置くと納まりがよく、反射した光が壁際に沿って広がり効果的です。どうもしっくりこないな、と思ったら灯りを真ん中から横に、少しズラしてみてください。たったそれだけでバランスがよくなることも多いんです。

2つ目のポイントは、色。背景になる壁は白っぽいのか、黒っぽいのか。灯りの存在を目立たせたいのか、なじませたいのか。全体のバランスを考えてから色やデザイン、サイズを選ぶといいですね。最近はコードの色や質感までデザインされた照明も多いので、そんなタイプならコードをラフにむき出しにしてもサマになりますし、あえてゆったり垂らしてみるのも面白いはず。そうやってあれこれコーディネートするのも楽しいですよ。

3つ目は、あまり難しく考えず好みのデザインを買ってみること。雑貨店やインテリアショップで見かけたコレいい！と直感で思ったモノで大丈夫。自分の好きなスタイルに自信をもって選んでください（笑）。シェード（カサ）があるタイプの照明なら、より明るく光が広がります。シェードのない裸電球タイプはシンプルながらアクセントになり、コーディネートしやすいはずです。

自分の世界観があればどんな照明もキマる

シーリングライトそのものを他の灯りに替えてみるのもいいでしょう。もしもペンダントライトに替えるなら、思い切ってコードをぐっと長めにすると力ッコよく見えますよ。

灯りに正解はありません。どんな照明でもその人の世界観が感じられれば、おしゃれにまとまります。ぜひ灯りを楽しむステキな暮らしをはじめてみてください。

照明雑貨　RUNTAN
オーナー　堀内乾三郎さん
HORIUCHI KENZABURO

住宅・店舗等の照明プロデュースを幅広く手掛ける。県内外の工務店・ビルダーから一任される案件も多数

あれは相談カウンターがアピタ静岡店へ移転した直後、秋の気配が感じられ始めたころ。WEB予約から来店してくれたSさんは第一印象からとてもかわいらしく、ポジティブなオーラを持った方だった。

間取りもインテリアも明確な要望が多数あり、イメージ写真も丁寧にスクラップ。構造や資金計画の勉強もされている。初めてのご相談時にここまで理想のイメージを固めている方はめったにいない。気になったのは以前打ち合わせを進めていたという、ある住宅会社とのやり取りだ。

「本気でこちらの希望に応えようとしているようには、どうしても思えなくて…」

明るく話してくれるSさんだが、その声には濃い疲れの色が滲んでいる。確かにSさんほど細部まで具体的なイメージがある場合、たまたま付いた担当者の経験が浅ければ、要望を超えるプランが上がってくる可能性は低いだろう。それをSさんの努力で何とかしようとしても、住宅会社との知識量の差は埋めようもない。

さらに同時進行で所有マンションの売却も進めていると聞いて、またびっくり。不動産会社に仲介を依頼しているものの買い手がつかず、もしもこのまま売れなかったら…と考えると心配でたまらない。そのうえご主人は海外に単身赴任中。仕事は超多忙で新しい家のことは全部Sさんに任せるよ、と告げられているというのだ。

えっ？ Sさん、ちょっと待って!?

つまり実際に交渉してきたのは、全部Sさん自身ってこと!? これだけ専門的で難しい話をSさんたったひとりで進めてきたなんて…。しかも、はじめての子育てもひとりでやってるんですよね!? Sさん、凄すぎる！

話を聞けば聞くほど、今のSさんは家づくりを楽しめているとは言いがたい。むしろSさんの重荷になっている状態だ。うーん、これはなんとしてでもお役に立ちたい。Sさんに家づくりのワクワクを取り戻してほしい！

そう、Sさんの要望は一見ハードルが高そうだが、決して難しいワケではない。〝こうしたい〟が明確だからどの住宅会社が合うのかも選びやすい。相談カウンターに参画している住宅会社は50社以上。ざっと思い起こすだけでもSさんに紹介したくなる会社がいくつも頭に浮かんでくる。

そうなるとネックになるのは、マンション売却。新築建築とマンション売却が両方できる会社となると数は限られる。しかも途中「やはり売却ではなく、買い取りで」と連絡があった。広告を打ち、いつ現れるとも分からない買い手を待つ売却はやめにして、その会社自体に即マンションを買い上げてほしいという意味だ。売却に比べ、買取価格は数百万円単位で値下がりする。それは同時に、新築予算も変わることを意味している。Sさんの焦りが痛いほど伝わってくる。これは急がないと。Sさんの覚悟に私も応えなければ…。

来店からおよそ一か月後。3つの住宅会社をSさんに提案した。各社ともデザインOK、マンション買い取りOK。買取価格も想定内。Sさんに付く担当者は人柄でも信頼できる方を、と重ねて依頼した。

最終的にSさんが選んだのは、住宅会社A。打ち合わせはスムーズに進み、初顔合わせから3か月でのスピード契約だった。「マンションの買い取りに積極的だったのが大きかったです」。A社は事情をよく汲んでくれ、経験豊富で提案力もあるベテランが担当。プランをすすめるより先に、Sさんの気持ちに寄り添い、家づくりの不安を取り除くことを最優先にしてくれたそう。「完成したらぜひ見に来てくださいね！」契約報告に来てくれたSさんのはじける笑顔は、今も特別な思い出になっている。

アドバイザーとして相談を受けていると、こちらが知ってほしいことばかり話してしまい、一方通行だったかな、と思う時がある。そんな時こそ、まずはなぜお客様は相談に来てくれたのか。何を解決したいのか。心おきなく話せる雰囲気を作らなければいけないんだ、と改めて思わせてくれたSさんだった。明日の相談もひとつずつ、丁寧に耳を傾けていこう。できるアドバイザーになるための近道はないのだから。

イエタテ相談カウンターK子の

家づくり相談手帖

＊

「心から家づくりを楽しんでもらいたい！」
あれこれ思い悩みながらも前に進む
イエタテ相談カウンター
アドバイザーの奮闘記

アドバイザー　K子
前職不動産関連業務で培った経験と知識を活かそうとイエタテ相談カウンターのアドバイザーに。穏やかながら頼りがいのある人柄も相まって、お礼のメールが絶えない。
将来の夢は退職後の夫と暮らす、平屋の家を建てること

今回の相談者

- **お名前**……Sさん（30代／美術講師）
- **家族構成**…ご主人、Sさん、長男（2歳）
- **新居の要望**
  - 緑の庭を眺められる、大空間の「アトリエ」を作りたい
  - イメージは高級ホテルのラウンジ。大人の落ち着いた雰囲気
  - 指定の家具ブランド（代官山のショールームを内覧済）が似合う内装
  - 流行のスタイルにして、かぶりたくない。オリジナルを目指したい
- **特記事項**
  - 耐震等級3は必須
  - マンションを売却して頭金に

※本ページは実際の相談事例に基づき構成していますが、プライバシー保護のため一部変更しています。

“自分らしい暮らし”を叶えるための第一歩

専用ハガキ・スマホで一括

気になる会社から資料をおとりよせ

P.9からの「COZY LIFE　居心地の良い家に暮らす」で気になる住まい・暮らしを見つけたら、その家を建てた会社の詳しい情報を見てみましょう。
憧れの暮らしを実現したい、新しい住まいを考え始めたい、こんな家を建てたいなど、
あなたが考える“暮らし”について少しでも相談したい会社が見つかるかもしれません。
気になる会社が見つかったら、資料のおとりよせを。WEBまたは下のハガキを使えば、住宅会社のカタログやパンフレットなどを、
何社でも無料で一括請求できるから、とっても便利。

≪資料請求～資料が届くまでの流れ≫

WEBで受付完了orハガキが本誌編集部へ届きましたら、各会社へ連絡させていただきます。
その後、各会社から読者の皆さんへ直接資料をお届けいたします。

WEBからの資料請求方法

❶右下のQRまたは「イエタテまとめて資料請求」と検索しWEBへアクセス
❷本誌の表紙画像の下にある「選択する」をクリック
❸資料請求したい会社を選択し、必要事項を入力

イエタテまとめて資料請求

ここからアクセス!

ハガキからの資料請求方法　裏面（P.54）にある各社名左にチェックを記入して、ポストに投函してください。

きりとり

料金受取人払郵便
静岡中央局
承　認
4981
差出有効期間
2022年4月
20日まで
●切手不要

420-8755

5 0 1

静岡市葵区追手町3-11
しずおか焼津信用金庫追手町ビル 2F
株式会社しずおかオンライン

わたしの住まい みんなの暮らし
西部版 vol.2

資料一括おとりよせ係　行

	フリガナ	ご　職　業
お名前		
		年齢（　　）歳
ご住所	〒　－ TEL（　　）　　－	
E-mail		

※濃くはっきりとお書きください。

［個人情報の取り扱いについて］
株式会社しずおかオンラインでは、お送りいただいた個人情報を、一括資料おとりよせサービスのために利用し、ご指定の資料おとりよせ先に開示します。この情報を統計処理して使用することがありますが、そのような場合においても個人情報は公表されません。情報の管理につきましては、弊社の「個人情報の取り扱いについて」（https://www.esz.co.jp/common/img/policy/personal1708.pdf）に従い厳重に保管いたします。

きりとり

STAFF

Publisher
海野尚史

Editor in Chief
鈴木太可志

Advertising Staff
鈴木達哉／吉村祐太朗
那須田佑平／杉山ゆい／瀧澤圭介／福本京加
成岡拓也／鈴木結稀／大杉直敬／鈴木麻裕
北原健太／長谷川良太／宇田玲奈／大塚淳哉

Editor
加藤由衣／藤本雅之／星野幸子／水野由貴
富樫めぐみ／杉村あゆみ／橋ヶ谷久子／佐々木美穂
志水竜一／風間千裕／櫻井美江
渡邉美穂／鈴木愛／松下麻美
坂本真吾

Writer
大杉晃弘
小川あさみ
木村大作（好文堂）
嶌本倫子（nOTEs）
鈴木三貴子（オフィスアン）
松浦伸之（dayclip）
和田 知子

Photographer
石田剛基
白瀬敦史
長澤任芳（フォトテック）
御手洗里美
村上順一（村上スタジオ）
森島吉直（しずおかオンライン）

Designer
飯塚恭規／輕部真帆

Distribution Staff
矢部祐規

本誌への広告掲載のお問い合わせは、住まい事業部まで。
TEL.054-275-3330

2020年4月27日発行
編集・発行元　株式会社しずおかオンライン
〔静岡本社〕　〒420-0853　静岡市葵区追手町3-11
しずおか焼津信用金庫追手町ビル2F
TEL.054-275-3330　FAX.054-275-3331

https://www.esz.co.jp　info@sumailab.net

印刷所　サンメッセ株式会社

しずおかオンラインホットダイヤル
万が一、本誌掲載内容と事実が異なる場合は以下までご連絡をお願い致します。
0800-111-7713
受付時間/10:00～17:00
※土・日、祝、年末年始は除く

本誌に掲載の内容は、各企業の責任に基づいて誌面構成しており、内容を完全に保証するものではありません。解約や返金など、読者に代わって広告主と交渉することはできません。電話内容につきましては正確を期すために録音する場合がございます。あらかじめご了承ください。

■本誌の編集にあたり、ご協力いただきました関係各位に厚くお礼申し上げます。　■乱丁、落丁はお取り換えいたします。　■本誌に掲載されている情報は、2020年4月までに行った取材に基づいています。
■本誌に掲載されている記事、写真、イラストなどの無断掲載、複製、転載を禁じます。
※GW、夏期、年末年始は、掲載各社がお休みの場合があるため、ご注意ください。
©SHIZUOKA ONLINE 2020　Printed in Japan

ご来店・相談いただいた 99%※の方々が満足しています

※有効回答数…100件(2018年8月～2019年12月)　※5段階で4(満足)以上の評価

イエタテ相談カウンターは、静岡県・愛知県三河エリアで家を建てたい・買いたいと考えている方が、
希望にあった工務店・ハウスメーカーを見つけるための、対面式無料相談&紹介サービスです。
理想のマイホームを実現する第一歩、イエタテ相談カウンターにご相談ください。

イエタテ相談カウンター

アピタ静岡店
054-291-6241　静岡市駿河区石田1-5-1 アピタ静岡店 1F

浜松店
053-525-7676　浜松市中区中央3-1-33 フォーレ三和Ⅱ 1F

三島店
055-928-5520　駿東郡清水町玉川113-7

岡崎店
0564-73-3636　岡崎市上六名2-8-5

資料一括おとりよせ用ハガキ

以下のアンケートにご協力をお願いいたします。気になる会社の資料のおとりよせができます。

住まいのご予定について

Q1 今後居住を検討しているエリアは?

ハガキに直接ご記入ください。

Q2 住まいに関してはどれを検討していますか?(複数回答可)

①土地購入+注文建築の予定
②所有土地+注文建築(建替含む)の予定
③リフォームの予定
④中古物件購入+リフォームの予定
⑤その他

Q3 施工または購入希望時期は?

①半年以内
②1～2年以内
③2～3年以内
④未定

Q4 家づくりに関する内容で、各会社へ質問・相談したいことはありますか?

ハガキに直接ご記入ください。

本誌について

Q5 この本を手に取った場所はどこですか?

①スーパー　②ショッピングモール　③飲食店　④美容院・床屋
⑤百貨店　⑥ホームセンター　⑦書店　⑧市役所　⑨自宅に届いた
⑩その他

Q6 この本で気にいったところは?(複数回答可)

①表紙　②情報量　③写真　④誌面デザイン
⑤特集「好きなモノに囲まれる心地よい暮らし」
⑥COZY LIFE　居心地の良い家に暮らす
⑦資料請求ハガキ　⑧地元の住宅会社が載っている
⑨その他

Q7 本誌で気にいった暮らし(家)をご回答ください。ページ数でご記入ください(最大3つ)。

Q8 この本に対するご感想・ご意見

マイホームを考え始めたら
WEB イエタテ

住宅会社・施工例をチェックしよう!

個人情報の取り扱いについて

■株式会社しずおかオンライン(以下、しずおかオンライン)では、お送りいただいた個人情報を、一括資料おとりよせサービスのために利用し、ご指定の資料おとりよせ先に開示します。
■資料請求者から許可されない限り、しずおかオンラインが個人情報を一般に公表することは原則としてありません。
■お送りいただいた情報は統計情報として利用する場合がありますが、そのような場合においても個人情報は公表されません。
■しずおかオンラインは、資料おとりよせ先から提供される資料の内容について責任を負いません。

資料おとりよせにあたっての注意点

※資料が届くまでに2週間程度かかる場合があります。あらかじめご了承ください。
※夏期休暇、年末年始休暇の期間は資料の到着が遅れる場合があります。
※施工エリア外からの資料おとりよせの場合、資料発送の対応がない場合がありますのでご了承ください。

きりとり

わたしの住まい みんなの暮らし 資料一括おとりよせ用ハガキ

資料をおとりよせしたい会社に☑チェックをしてください。

※五十音順

工務店&ハウスメーカー	工務店&ハウスメーカー
☐ アイジースタイルハウス	☐ コバケンホーム
☐ 朝日住宅	☐ デザインハウス
☐ 石牧建築	☐ tonokEn
☐ 入政建築	☐ 納得住宅工房
☐ インフィルプラス	☐ 桧の住まい 磯建(磯部建設)
☐ Casa(カーサ)	☐ BESS浜松
☐ casa carina 浜北	☐ MABUCHI
☐ 桂建設	☐ ワンズホーム
☐ 寿建設	

きりとり

Q1 エリア	県　市町村　付近		
Q2 住まい	①　②　③　④　⑤(　)	Q3 時期	①　②　③　④
Q4 質問・相談			
Q5 場所	①　②　③　④　⑤　⑥　⑦　⑧　⑨　⑩(　)		
Q6 動機	①　②　③　④　⑤　⑥　⑦　⑧　⑨(　)		
Q7 好きな暮らし(家)	P. P. P.	Q8 この本の感想・ご意見	

わたしの住まい みんなの暮らし　2020 西部版　　ご協力ありがとうございました。